

# 平成 25 年度長崎市観光動向 分析結果報告書

平成 26 年 1 月



長崎市経済局文化観光部観光政策課

# 目次

I. 調査概要	1
II. 要約	5
III. 分析結果	7
【属性】	7
【旅行スタイル】	9
【日程】	13
【訪問（予定）先と訪問回数】	17
【まち歩きの有無や祭り・行事の認知度】	28
【市内観光に対する要望と「食」「土産」の傾向】	30
【長崎市を旅行先に決めた理由・目的】	35
【1人あたりの旅行費用】	36
【旅行前の期待度と旅行後の満足度】	38
【長崎市を再訪する意向】	40

※本報告書は長崎市が調査したデータをもとに作成している。なお、各図表ではサンプル数が少ない「沖縄」と「海外」は除外。

## I. 調査概要

### 【場所】

「グラバー園」「原爆資料館」「かもめ広場」「出島」の4カ所

### 【対象者】

上記施設を訪れた市民・修学旅行生以外の観光客

### 【調査方法】

質問用紙を用いた聞き取り調査に加え、  
旅行満足度・再訪意向について調査ハガキを配布

### 【期間】

聞き取り調査については平成25年11月2日（土）、3日（日、祝日）、4日（月、振替休日）の3日間。調査ハガキの配布は、前記3日間に加えて7日（木）～13日（水）に「グラバー園」と「出島」にて配布。

### 【回答数】

#### ※聞き取り調査

合計1,500件 うち有効回答1,454件

本調査は、サンプル数をグラバー園と原爆資料館で900件、かもめ広場と出島において600件を目安として長崎市が実施。

(件)

調査場所	11月2日	11月3日	11月4日	合計
グラバー園	162	128	170	460
原爆資料館	139	151	124	414
出島	109	65	144	318
かもめ広場	66	65	131	262
合計	476	409	569	1,454

#### ※調査ハガキ回収総数

計194件

## 【聞き取り調査用紙】

### 長崎市の観光について（アンケート）

本日は、長崎市にお越し下さいましてありがとうございます。長崎市では、多くの方に満足していただけるよう、皆様にアンケートをお願いしております。お急ぎのところ誠に申し訳ございませんが、下記アンケートにご協力をお願いいたします。

#### 問1. 今回の長崎市訪問の目的は何ですか。（1つ回答）

- ①観光 ②仕事 ③帰省 ④その他( )

#### 問2. 今回の旅行は、次のどれですか。（1つ回答）

- ①1人旅 ②家族旅行( )人 ③友人・知人との旅行( )人 ④団体旅行(職場、地域)( )人

#### 問3. 今回の旅行のきっかけとなった情報源は何ですか。（1つ回答）

- ①テレビ番組 ②HP(旅行会社) ③その他のHP ④チラシ・パンフレット ⑤雑誌 ⑥新聞  
⑦友人・知人の勧め ⑧その他( )

#### 問4. 今回の旅行はどのようにして手配されましたか。（1つ回答）

- ①旅行会社の店舗 ②インターネット(楽天、YAHOO、旅行会社HP等) ③ホテル・交通機関に直接手配

#### 問5. 今回の旅行はどのような日程ですか。

- ①日帰り ②宿泊→( )泊( )日 うち長崎市内に( )泊

#### 問6. 今回の旅行では、「長崎市」以外のどこかへ行きますか。又は行きましたか。（複数回答可）

- ①長崎市だけ ②佐世保市(ハウステンボス) ③島原市 ④雲仙市(雲仙・小浜) ⑤五島 ⑥平戸 ⑦その他長崎県内  
⑧佐賀県 ⑨福岡県 ⑩熊本県 ⑪大分県 ⑫鹿児島県 ⑬その他( )都・道・府・県)

#### 問7. 「長崎市」にはどのようにしてお越しになりましたか。（1つ回答）

- ①自家用車 ②高速バス ③貸切バス ④JR ⑤レンタカー ⑥飛行機+バス ⑦船舶 ⑧その他( )

#### 問8. 今回の旅行を含めて「長崎市」には何回お越しになりましたか。（1つ回答）

- ①初めて ②2回 ③3回 ④4回以上

#### 問9. 今回「長崎市」のどこへ行きましたか。又は行く予定ですか。（複数回答可）

- ①グラバー園 ②大浦天主堂 ③稲佐山 ④出島 ⑤ペンギン水族館 ⑥原爆資料館または平和公園  
⑦浦上天主堂 ⑧眼鏡橋 ⑨孔子廟・中国歴代博物館 ⑩長崎歴史文化博物館 ⑪亀山社中記念館 ⑫軍艦島  
⑬中華街 ⑭伊王島 ⑮高島 ⑯野母崎 ⑰海外 ⑱池島 ⑲その他( )

#### 問10. 次の観光施設には、今回を含めて何回行ったことがありますか。（それぞれ1つ回答）

グラバー園	①なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上
出島	①なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上
原爆資料館	①なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上
長崎歴史文化博物館	①なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上
稲佐山	①なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上
軍艦島	①なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上

#### 問11. 今回まちあるき（長崎さるくなど）を楽しめましたか。（1つ回答）

- ①マップ等で自由にまちあるきをした(予定も含む) ②ガイド付きのまちあるきをした(予定も含む)  
③まちあるきをする予定はない

#### 問12. 長崎市のまつりやイベントで知っているのはどれですか。（複数回答可）

- ①ランタンフェスティバル ②帆船まつり ③ペーロン選手権大会 ④ながさきみなとまつり ⑤精霊流し ⑥長崎くんち

**問13. 「長崎市」がもっと良い観光地になるために何を望まれますか。(複数回答可)**

- ①史跡・名所をもっと整備する ②体験メニューの充実 ③観光地までの案内板などの整備  
 ④観光地周辺の駐車場の整備 ⑤交通の便を良くする ⑥観光地のバリアフリー化 ⑦祭りやイベントの充実  
 ⑧情報提供サービスの充実 ⑨観光ガイドの充実 ⑩まち歩きマップの充実 ⑪宿泊施設の質やサービスの向上  
 ⑫夜型観光の充実

**問14. 「長崎市」でのお食事は何を召し上がりましたか？または召し上がる予定ですか？(複数回答可)**

- ①長崎ちゃんぽん・血うどんなどの中華料理 ②トルコライス ③魚料理(刺身を含む) ④卓袱料理  
 ⑤くじら料理 ⑥長崎和牛 ⑦その他( )

**問15. 「長崎市」でお土産は何を買いたいですか？(複数回答可)**

- ①カステラ ②角煮まんじゅう ③長崎ちゃんぽん・血うどん詰め合わせセット ④長崎かまぼこ  
 ⑤その他魚加工品(あじ茶漬け等) ⑥地元の農産物 ⑦長崎ぶたまん  
 ⑧洋菓子・中華菓子 ⑨ピードロなどの工芸品 ⑩その他( )

**\* 問1で「①観光」と回答された方のみにお尋ねします。**

**問16. 今回の観光先を「長崎市」に決めた主な理由や目的は何ですか。(1つ回答)**

- ①観光施設めぐり(グラバー園、出島など) ②まち歩き(長崎さるくなど) ③夜景鑑賞 ④平和学習 ⑤食べ物  
 ⑥世界遺産候補めぐり(キリスト教関連遺産) ⑦世界遺産候補めぐり(産業革命遺産) ⑧長崎というイメージ  
 ⑨ツアーに入っていたから ⑩その他( )

**問17. 今回の観光で1人あたりどのくらいお金を使いますか。(使った金額+使う予定の金額)**

**ツアー(バック)の方はツアー(バック)料金と、下記項目のうち「宿泊代」以外をお答え下さい。**

旅行全体の費用(1人あたり約 )円 ツアー(バック料金)約( )円

上記のうち、	市内交通費(1人あたり約 )円	市内でのおみやげ・買物代 (1人あたり約 )円
<b>長崎市内</b> で使った分	市内飲食代(1人あたり約 )円	市内宿泊代(ツアーの方は不要)(1人あたり約 )円
(使う予定も含む)	入場・観覧料(1人あたり約 )円	その他 (1人あたり約 )円

**問18. 最後にあなた自身のことについてお答えください。**

お住まい	( )都・道・府・県 (長崎県内の方は 市・町)
性別	①男性 ②女性
年代	①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代以上

ご協力、たいへんありがとうございました。

※調査員記入欄

調査場所	グラバー園 ・ 原爆資料館 ・ 出島 ・ かもめ広場
調査日時	平成 25 年 月 日 時 分
調査員名	

【調査ハガキ】

【観光満足度調査アンケート】（該当する個所に☑を付けて下さい）

問 1. 今回の旅行前の期待度と旅行後の満足度についてお答えください。

	旅行前の期待度			旅行後の満足度				該当なし
	期待した	普通	期待していない	大変満足	やや満足	やや不満	大変不満	
旅行全体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
観光施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
まち歩き （史跡めぐり）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宿泊施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食 事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
土 産 品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
観光ガイド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自然や まちの景観	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
夜 景	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 2. また「長崎市」に来たいと思いますか。（1つ回答）

来たい    来たくない    どちらとも言えない

ご協力ありがとうございました。※ご記入後は、平成 25 年 11 月 24 日までに、ご返送下さいますようお願いいたします。

## Ⅱ. 要約

### 《聞き取り調査》

#### 【属性】

##### ◆「九州」が3割強、県別では福岡県がトップ

年齢層では「20歳代」と「30歳代」が2割台、これに「50歳代」と「40歳代」が2割弱で続く。居住地は「九州」が33.0%でトップ、県別で最も多いのは「福岡県」。

#### 【旅行スタイル】

##### ◆8割が「観光」目的。個人・小グループ旅行で全体の9割弱

旅行目的は、「観光（が主目的）」が81.7%。旅行形態は、「団体旅行」の10.8%に対し、これを除く個人・小グループ旅行は9割弱。地域別でも「家族旅行」の割合が高くなか、「団体旅行」の割合が『北海道』と『東北』、『中国』で比較的高い。

##### ◆情報源のトップは「友人・知人の勧め」

旅行の情報源は「友人・知人の勧め」がトップ。これに「雑誌」「HP（旅行会社）」と続く。『30代』で「インターネット」の割合が2割を超える。

##### ◆旅行の手配では、「ホテル・交通機関に直接手配」が4割弱

#### 【日程】

##### ◆旅行全体の日程は宿泊ありが9割弱、平均宿泊数は2.0泊

旅行の全日程をみると、「宿泊あり」が9割弱。「宿泊あり」の人の宿泊数は1泊及び2泊で8割近くを占め、平均宿泊数は2.0泊。

##### ◆長崎市内における宿泊数は「1泊」が6割近く、平均宿泊数は1.42泊

長崎市内における宿泊数は、「1泊」56.3%、「2泊」27.1%、「3泊以上」7.4%。一方、「0泊（長崎市での宿泊なし）」は9.2%。『北海道』で「3泊以上」が唯一2割を超える。

#### 【訪問(予定)先と訪問回数】

##### ◆長崎市以外の訪問（予定）先は県内では佐世保市、県外では福岡県が中心

長崎市以外の訪問（予定）先は、県内では「佐世保市（ハウステンボス含む）」が23.6%とトップ。県外では「福岡県」が13.9%と最も多い。

##### ◆交通手段は、「JR」がトップ

長崎市に入るまでの交通手段は、「JR」31.5%、「自家用車」24.0%、「飛行機+バス」22.7%の順。「JR」は『中国』でトップとなっている。

##### ◆長崎市への来訪回数は、「初めて」が1/3。

長崎市への来訪回数は「初めて」（34.0%）がトップ。

##### ◆訪問割合が高い「グラバー園」「大浦天主堂」と「出島」

長崎市市内での訪問（予定）先は、「グラバー園」が74.9%で最多。以下「大浦天主堂」「出島」「原爆資料館・平和公園」「中華街」の順。「軍艦島」が順位を上げてきている。

### **【まち歩きの有無】**

◆まち歩き観光体験の割合は55%

長崎市で「自由にまち歩き」(50.6%)と「ガイド付きまち歩き」(4.4%)を体験した人は、合わせて55.0%。

### **【祭りや行事の認知度】**

◆認知度が高いのは「長崎くんち」で8割超

長崎市の祭りや行事で認知度が高いのは「長崎くんち」の82.7%。続いて「精霊流し」55.8%、「ランタンフェスティバル」52.8%。

### **【市内観光に対する要望と「食」「土産」の傾向】**

◆長崎市観光に望むことは、「観光地までの案内板などの整備」

長崎市観光に望むことは、「観光地までの案内板などの整備」(24.5%)、「交通の便を良くする」(21.4%)、「観光地周辺の駐車場の整備」(19.7%)、が上位。

◆『食』では「ちゃんぽん・皿うどん等の中華料理」が圧倒的人気

長崎市で食べた(食べる)料理について尋ねたところ、「ちゃんぽん・皿うどん等の中華料理」が82.9%と、他を圧倒。

◆『土産』では「カステラ」の購入が8割超

### **【長崎市を旅行先に決めた理由・目的】**

◆旅行先に選んだ理由は、「観光施設巡り」が6割弱

### **【1人あたりの旅行費用】**

◆旅行全体での1人あたりの費用は、日帰り14,488円、宿泊55,614円

観光目的で来訪した人の旅行全体の費用は1人あたり平均で51,575円。このうち「日帰り」旅行14,488円、「宿泊」旅行55,614円。

◆長崎市における消費額は平均27,848円

長崎市内における消費額は、1人あたり平均27,848円と、平成24年の調査(30,362円)を下回った。

## **《ハガキ調査》**

### **【旅行前の期待度と旅行後の満足度】**

◆旅行全体について、7割近くが旅行に期待、99%が“概ね満足”

期待度が高いのは「夜景」、次に「食事」。一方、満足度が高いのも「夜景」で、次点は「まち歩き」であった。

### **【長崎市を再訪する意向】**

◆全体の9割超が長崎再訪の意向。

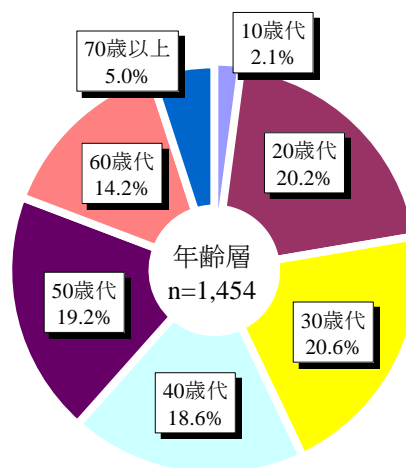
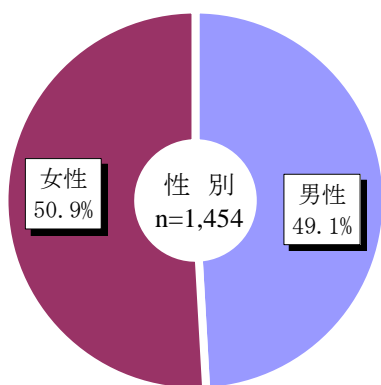


### Ⅲ. 分析結果

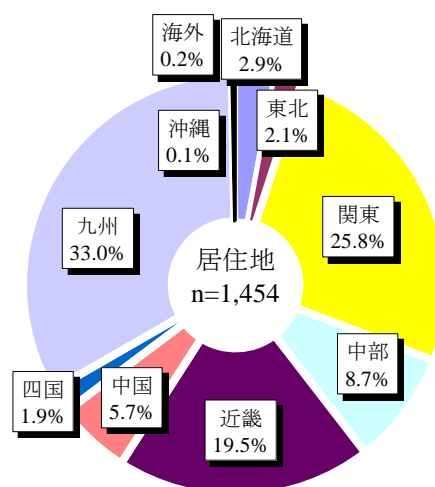
#### 【属性】

性別をみると、「男性」が49.1%、「女性」が50.9%。

年齢層別では、「30歳代」(20.6%)と「20歳代」(20.2%)が2割台、これに「50歳代」(19.2%)「40歳代」(18.6%)が続く。



居住地・ブロック別では、「九州」が33.0%とトップ。これに「関東」が25.8%で続き、以下「近畿」(19.5%)、「中部」(8.7%)となっている。



(n=1,449)

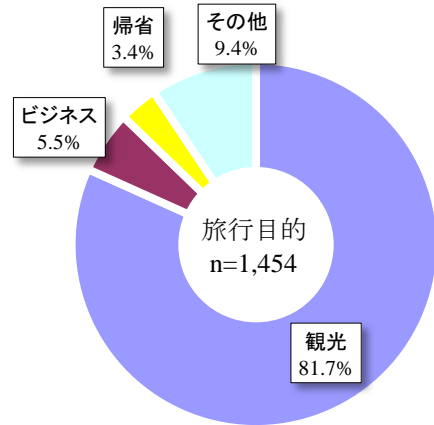
さらに居住地を都道府県別に細分化してみると、「福岡県」(15.1%)と「東京都」(10.5%)、「大阪府」(8.3%)、が上位を占め、これに「神奈川県」(6.2%)、「兵庫県」(4.6%)、「千葉県」(4.1%)、「愛知県」(4.0%)、「熊本県」(3.6%)、「京都」・「鹿児島県」が(3.2%)と続く。

都道府県名	回答者数 (件)	回答割合 (%)
北海道	42	2.9
青森	3	0.2
岩手	9	0.6
宮城	9	0.6
秋田	3	0.2
山形	1	0.1
福島	6	0.4
茨城	9	0.6
栃木	23	1.6
群馬	4	0.3
埼玉	38	2.6
千葉	59	4.1
東京	152	10.5
神奈川	90	6.2
新潟	6	0.4
富山	1	0.1
石川	10	0.7
福井	5	0.3
山梨	0	0.0
長野	21	1.4
岐阜	9	0.6
静岡	16	1.1
愛知	58	4.0
三重	15	1.0
滋賀	25	1.7
京都	46	3.2
大阪	121	8.3
兵庫	67	4.6
奈良	5	0.3
和歌山	5	0.3
鳥取	3	0.2
島根	5	0.3
岡山	20	1.4
広島	31	2.1
山口	24	1.7
徳島	6	0.4
香川	11	0.8
愛媛	6	0.4
高知	5	0.3
福岡	219	15.1
佐賀	33	2.3
長崎	79	5.4
熊本	53	3.6
大分	29	2.0
宮崎	20	1.4
鹿児島	47	3.2

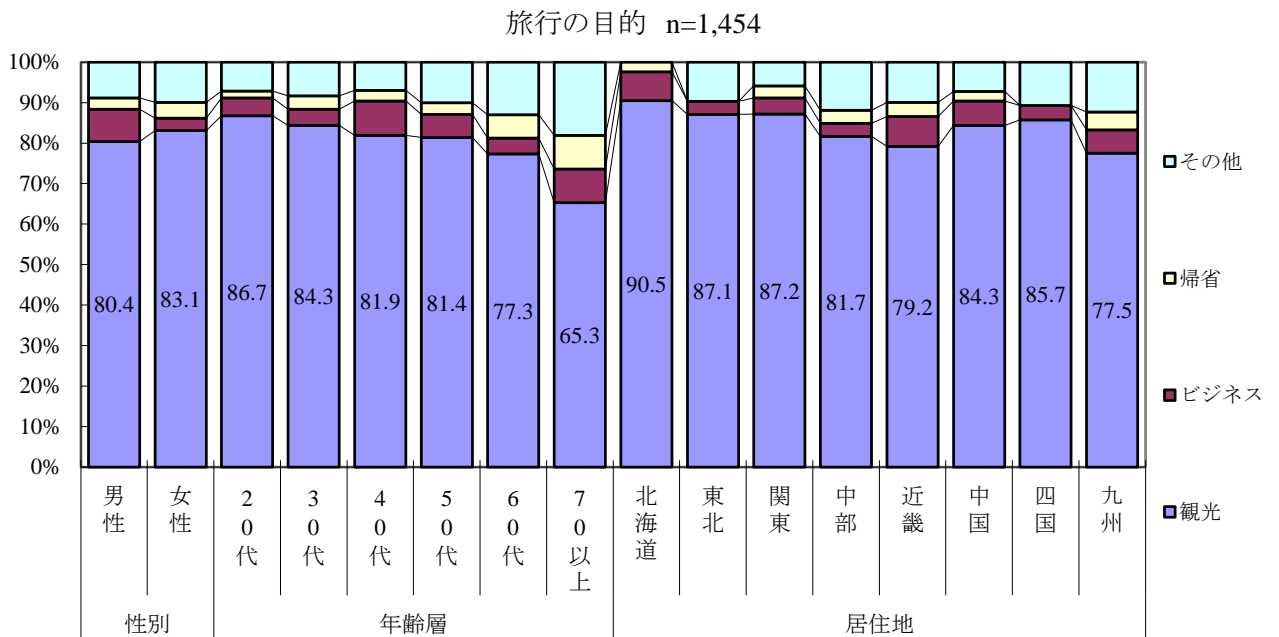
## 【旅行スタイル】

### ○旅行目的

旅行目的は「観光（が主目的）」が81.7%と8割超を占めており、「ビジネス」は5.5%、「帰省」が3.4%。



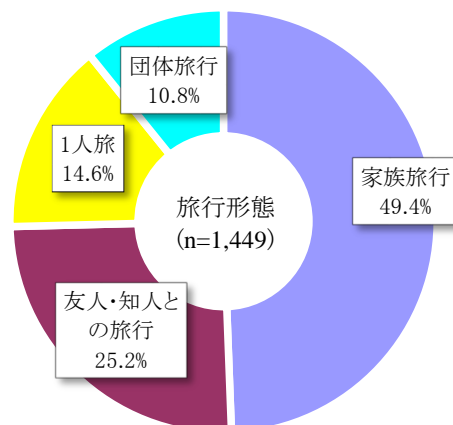
属性別にみると、女性が男性より「観光」の割合がやや高い。年齢層別では『40代』と『70以上』で「ビジネス」の割合がやや高めとなっており、居住地別では『北海道』と『近畿』で「ビジネス」の割合がやや高い。



## ○旅行形態

旅行形態をみると、「家族旅行」が49.4%と5割近くを占めており、以下「友人・知人との旅行」(25.2%)、「一人旅」(14.6%)、「団体旅行」(10.8%)と続く。

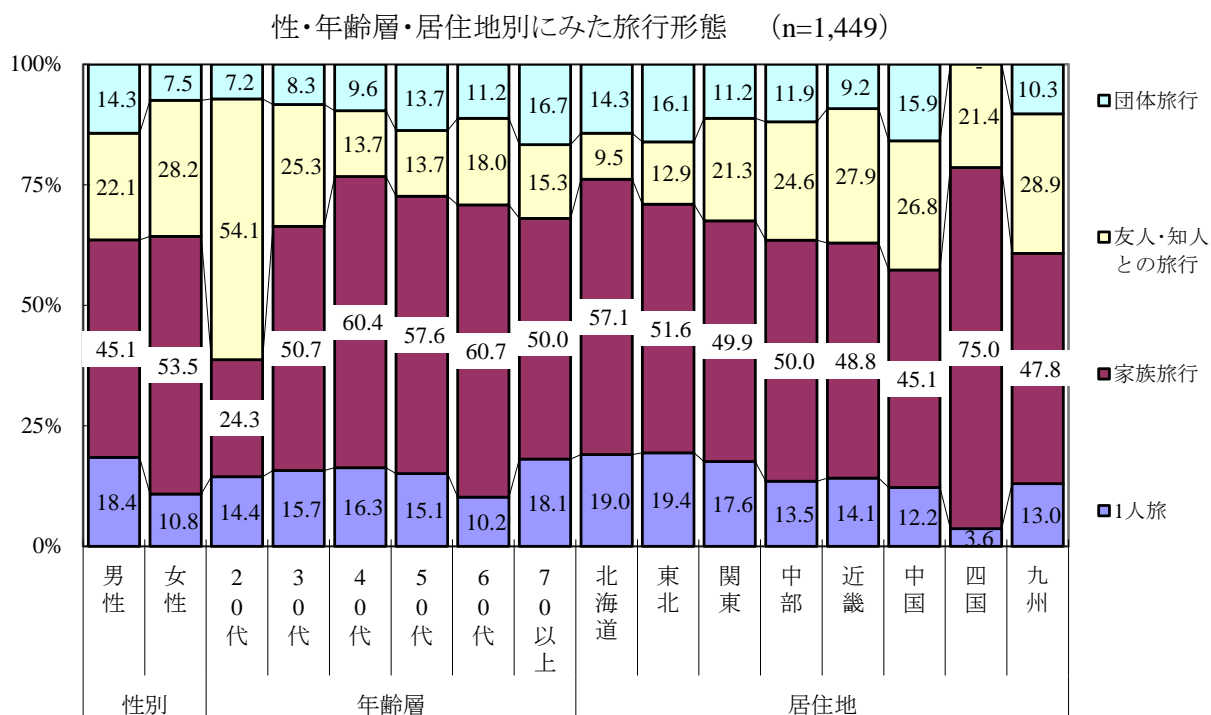
このうち、個人旅行が主流であることを示している「家族旅行」「友人・知人との旅行」「一人旅」を合わせた個人・小グループ旅行は89.2%と、前回調査(平成24年)の9割台から減少したものの、平成14年の調査から7~8割台で安定推移中。



性別でみると、男性は女性に比べ「団体旅行」の割合が高く、「家族旅行」「友人・知人との旅行」において女性が男性よりも割合が高い。

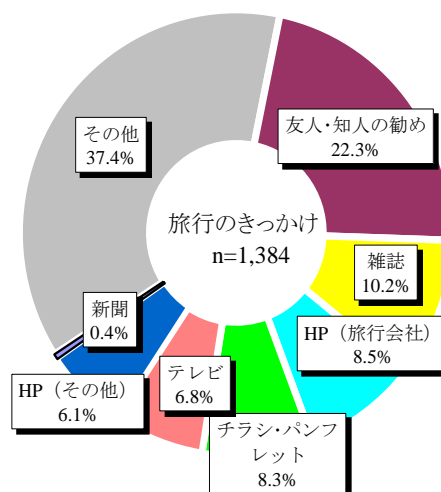
年齢層別では、『20代』で「友人・知人との旅行」が54.1%と半数以上を占めており、『30代』から「家族旅行」の割合が高くなっている。一方、「団体旅行」の割合が『50代』以降で高い傾向にある。

居住地別にみると、ほとんどの地域で「家族旅行」の割合が高いなか、「団体旅行」の割合が『北海道』と『東北』、『中国』で高く、また「一人旅」の割合が『関東』以北で比較的高い。



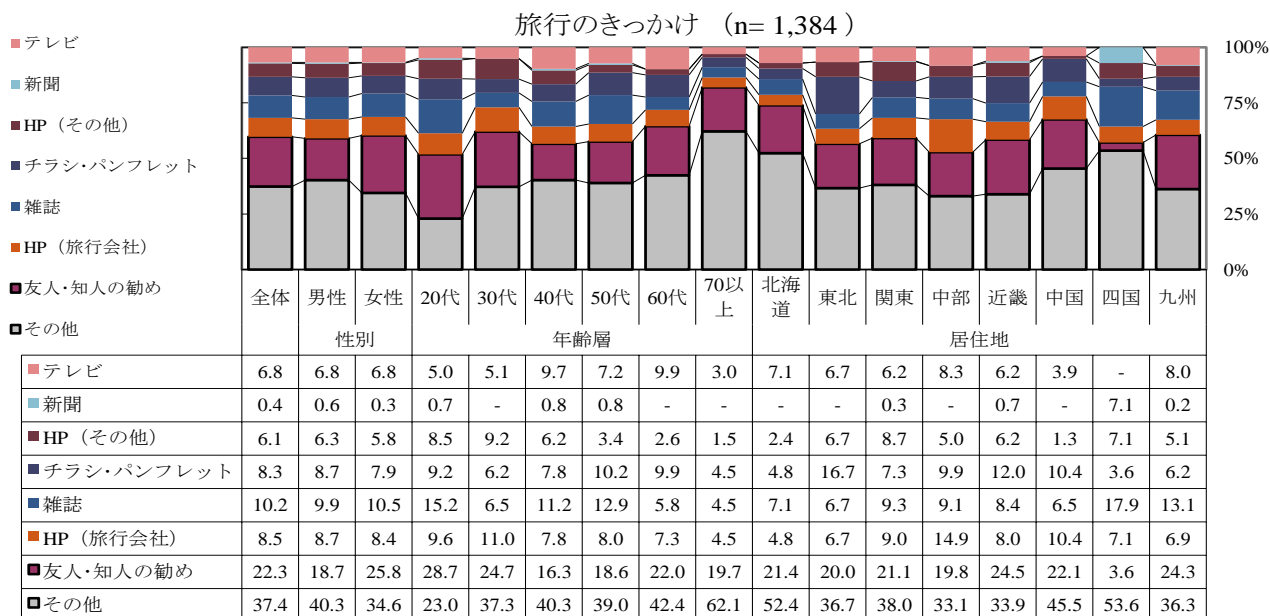
## ○旅行のきっかけとなった情報源

旅行のきっかけとなった情報源をみると、「友人・知人の勧め」が22.3%で最も多く、これに「雑誌」(10.2%)、「HP(旅行会社)」(8.5%)が続く。また、「その他」(37.4%)のなかには、「来てみたかったから」との回答が多いなか、「軍艦島」「坂本龍馬」「福山雅治」「昔、修学旅行で来たから」との回答が見受けられた。



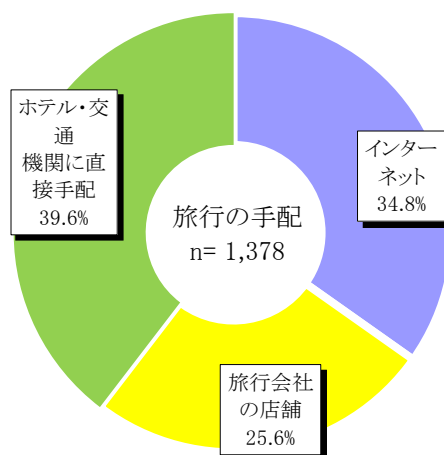
前回の調査(平成24年)結果と比べると、インターネット情報源(=HP~ホームページ)は「HP(旅行会社)」「HP(その他)」を合わせて14.6%となり、前回調査(17.8%)を下回っている。また、他の項目では「チラシ・パンフレット」も8.3%と前回調査(11.7%)を下回った。

次に、属性別にみると、性別では男女とも「友人・知人の勧め」の割合が最も高く、年齢層別の『30代』で「インターネット」(「HP旅行会社」「HPその他」の合計、以下同)の割合が2割を超える。地域別では『中部』で「インターネット」(19.9%)の割合が最も高い一方、『東北』では「インターネット」(13.4%)を抑えて「チラシ・パンフレット」(16.7%)が、『四国』と『九州』でもそれぞれ「インターネット」(14.2%、12.0%)よりも「雑誌」(17.9%、13.1%)の割合がそれぞれ高い。また、他の項目では『四国』で「新聞」(7.1%)の割合が他地域比最も高くなっている。



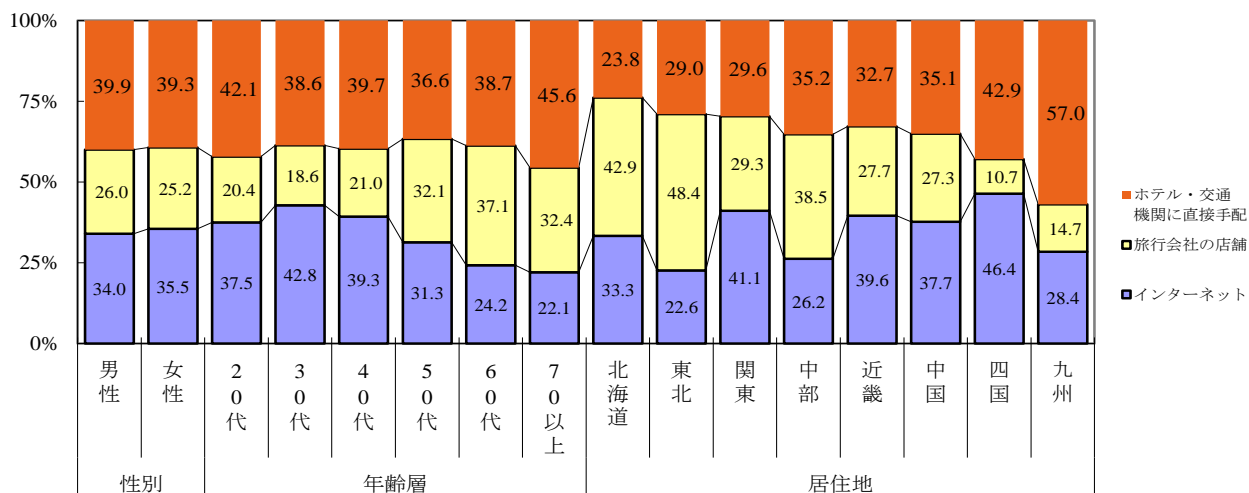
## ○旅行の手配

旅行の手配については、「ホテル・交通機関に直接手配」(39.6%)が4割近くを占めており、「インターネット(楽天やYahoo!旅行会社のHPなど)」(34.8%)も3割台となっているが、「旅行会社の店舗」(25.6%)は2割台に留まる。前回調査(平成24年)との比較では、「インターネット」の割合は変わらないが、「ホテル・交通機関に直接手配」の割合が増加(前回調査:29.1%)したのに対し、「旅行会社の店舗」の割合は減少(同33.9%)している。



これを属性別にみると、男女共「ホテル・交通機関に直接手配」の割合が高く、年齢層別では『30代』で「インターネット」の割合が4割を超えているが、『20代』と『70以上』では「直接手配」の割合が4割を超える。居住地別では、『北海道』と『東北』で「旅行会社の店舗」の割合が4割を超えており、特に『東北』では5割に近い。また「インターネット」は、『関東』と『四国』で4割を超えている。一方、『九州』では「直接手配」の割合が高い。

旅行の手配 (n=1,378)



## 【日程】

### ○旅行全体の日程

旅行の全日程をみると、「宿泊する」とした人が9割弱。

属性別にみると、「日帰り」は『50代』と『60代』で1桁台。居住地別では『九州』が26.7%と最も高い。

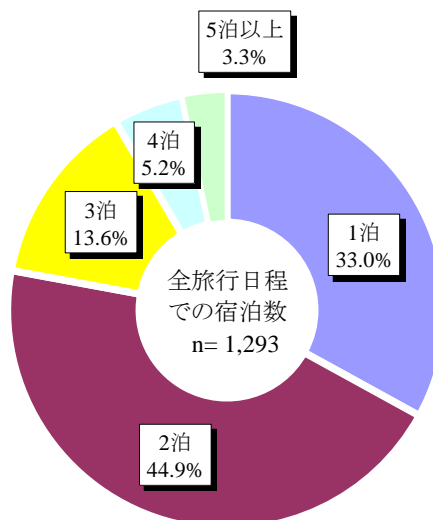
宿泊者の平均泊数(2.01泊)は、前回の調査(平成24年:2.0泊)に引き続き2泊となった。属性別にみると、『60代』と『70代以上』がともに2泊以上。居住地別では『近畿』以北で2泊以上となっており、なかでも距離的に遠い『北海道』(2.65泊)と『東北』(2.56泊)がそれぞれ高い。

旅行全日程での宿泊の有無と宿泊者の平均泊数(n=1,450)

属性		日帰り (%)	宿泊 (%)	宿泊者の平均泊数 (泊)
全体		10.3	89.7	2.01
性別	男性	11.2	88.8	1.99
	女性	9.3	90.7	2.03
年齢層	20代	11.6	88.4	1.86
	30代	12.0	88.0	1.96
	40代	11.1	88.9	1.91
	50代	7.9	92.1	1.98
	60代	7.8	92.2	2.31
	70以上	11.1	88.9	2.29
居住地	北海道	4.8	95.2	2.65
	東北	9.7	90.3	2.56
	関東	1.3	98.7	2.34
	中部	3.2	96.8	2.48
	近畿	1.1	98.9	2.08
	中国	2.4	97.6	1.79
	四国	3.6	96.4	2.00
九州	26.7	73.3	1.37	

宿泊数別にみると、「2泊」が最も多く44.9%、次いで「1泊」の33.0%。

「1泊」は、今回調査を含め前年の平成24年(32.4%)、平成23年(38.3%)、平成22年(36.1%)と3割台が続いている。「3泊」も13.6%と、前年(13.9%)比横這いの状況。一方、上昇していた「2泊」(前年:46.8%、平成23年:40.6%、平成22年:41.2%)は、今回調査で減少に転じており、4泊以上(「4泊」+「5泊以上」)が8.5%と、前年(6.8%)比1.7ポイント増加している。

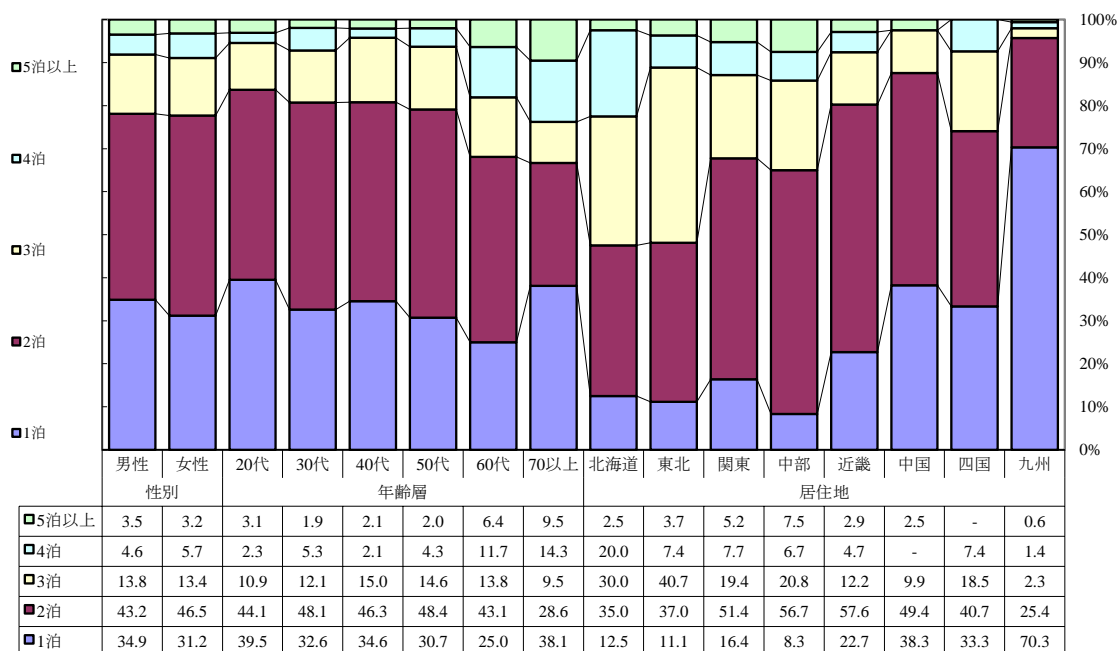


性別では、「1泊」で男性の宿泊割合が、「2泊」と「4泊」で女性の宿泊割合がわずかに高い。

年齢層別では、各年代とも1、2泊に集中しているなか、『60代』と『70以上』で「4泊」と「5泊以上」の割合が高い。

居住地別では、『九州』で「1泊」の割合が7割超。それ以外の地域では「2泊」が多く、九州から遠くなるにつれ「3泊」以上の割合が高い。なかでも、『東北』では「3泊」の割合が4割を超える。

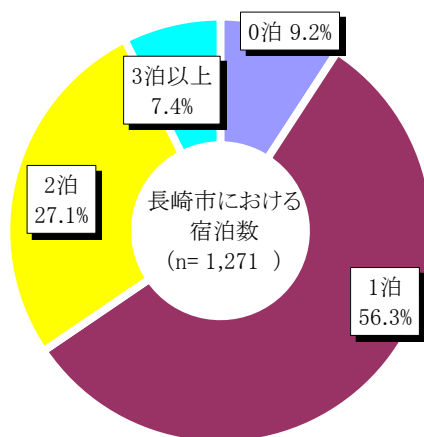
全旅行日程での宿泊数 (n=1,293)





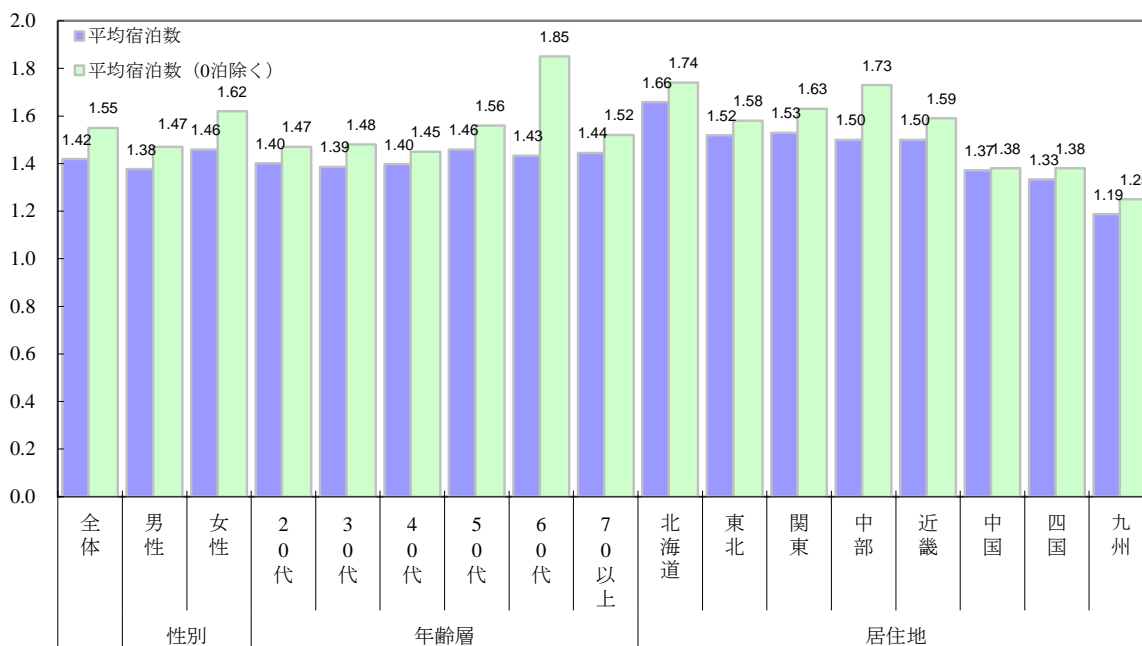
## ○長崎市内における宿泊数

長崎市内における宿泊数をみると、最も多い「1泊」(56.3%)は平成23年調査(62.4%)、平成22年調査(62.9%)、平成21年調査(62.5%)と60%台で推移してきたが、前回の調査(平成24年:58.6%)で平成18年調査(50.0%)以来の50%台となり、今回調査ではさらに前年比2.3ポイント減少となった。一方、「2泊」(27.1%)と「0泊」(9.2%)は、前回調査比それぞれほぼ同程度の割合(同28.0%、同8.6%)となったが、「3泊以上」(7.4%)は前年(同4.8%)を2.6ポイント上回った。



長崎市内での平均宿泊数は、長崎市内0泊を含むと1.42泊、長崎市内0泊を除いて1.55泊であった。平成21年(1.14泊、1.32泊)、平成22年(1.19泊、1.40泊)、平成23年(1.32泊、1.45泊)、平成24年(1.38泊、1.43泊)と、徐々に伸びてきている。

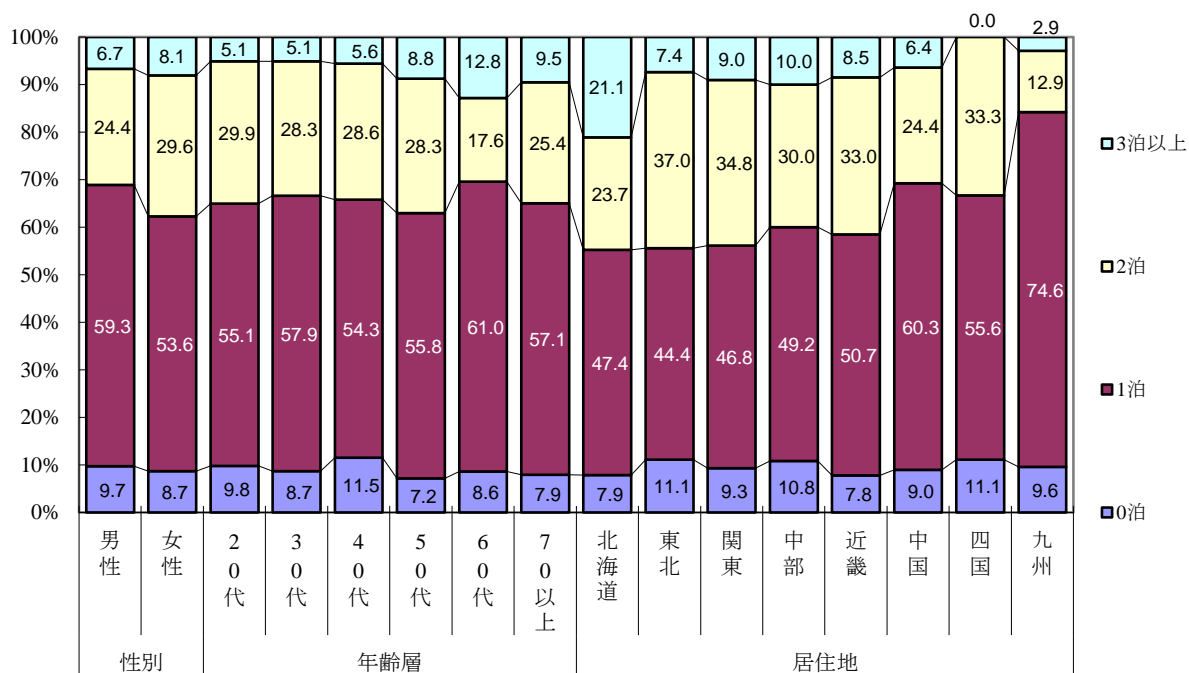
泊 長崎市内での平均宿泊数 n=1,271



長崎市内における宿泊数は、2泊以上で男性に比べて女性の割合が高い。また、年齢層別では「40代」で日帰りの割合が、「60代」で3泊以上の割合が他の年代と比べて高い。

居住地別では、『北海道』で2泊以上の割合が44.8%と前回調査（平成24年：60%）比大幅減少したが、平成23年（34.8%）との比較ではまだ高い。また、『東北』（44.4%）と『関東』（43.8%）や『中部』（40.0%）と『近畿』（41.5%）でも軒並み40%を超える。

長崎市内における宿泊数 (n= 1,271)

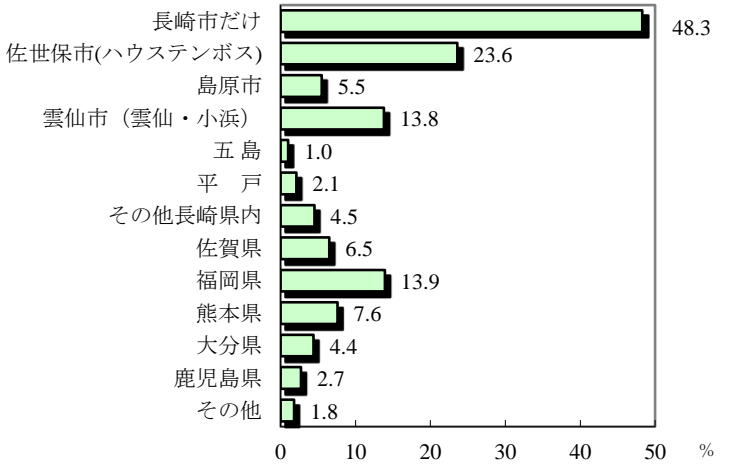


【訪問(予定)先と訪問回数】

○長崎市以外の訪問地・訪問予定地

長崎市以外の訪問地(訪問予定地を含む)をみると、「長崎市だけ」との回答が48.3%(平成24年:49.9%、平成23年:41.0%)と半数近くと最も多い。他の訪問先では、県内では「佐世保市(ハウステンボスを含む)」が23.6%(同25.5%、18.7%)、「雲仙市(雲仙・小浜)」が13.8%(同10.1%、10.0%)。県外は「福岡県」が13.9%と、主要ルートとなっている。

長崎市以外の訪問(予定)先 (複数回答、n=1,440)



属性別をみると、年齢層で「長崎市だけ」の訪問割合が『50代』と『70以上』で5割を超えている。また、居住地別では『北海道』と『近畿』以南で4割を超えており、『九州』では7割に近い。

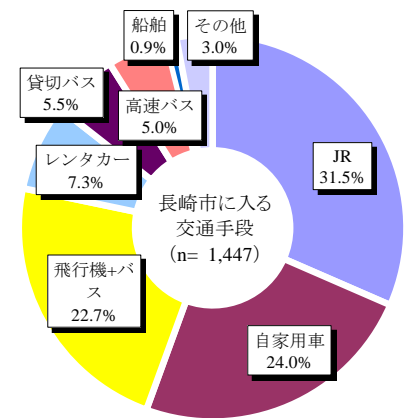
長崎市以外の訪問先をみると、県内では『70以上』を除く世代で「佐世保市(ハウステンボスを含む)」の割合が最も高い。また、県外では各年代とも「福岡県」の割合が多く、『70以上』で「大分県」の割合が2桁となっている。居住地別では、全ての地域で県内は「佐世保市(ハウステンボスを含む)」が、県外では『中国』と『九州』を除く地域で「福岡県」の割合がそれぞれ最も高い。また『中部』で「雲仙市(雲仙・小浜)」の割合が2割を超えており、『東北』で「熊本県」と「大分県」の割合がともに2割近くとなっている。

長崎市以外の訪問先・予定先 (複数回答、n=1,440)

属性		長崎市だけ	佐世保市(ハウステンボス)	島原市	雲仙市(雲仙・小浜)	五島	平戸	その他長崎県内	佐賀県	福岡県	熊本県	大分県	鹿児島県	その他
全体		48.3	23.6	5.5	13.8	1.0	2.1	4.5	6.5	13.9	7.6	4.4	2.7	1.8
性別	男性	48.6	20.4	6.9	14.6	0.8	2.1	3.7	7.8	14.6	8.8	4.4	3.3	2.0
	女性	48.0	26.7	4.1	12.9	1.1	2.0	5.3	5.2	13.2	6.5	4.4	2.2	1.6
年齢層	20代	47.9	30.8	2.7	10.6	1.0	1.4	4.5	5.5	13.7	4.5	3.1	1.0	1.7
	30代	48.7	24.2	5.7	14.8	0.7	0.7	3.4	5.7	11.4	7.0	2.0	3.0	1.3
	40代	47.8	23.7	6.7	13.7	1.1	1.1	5.2	4.4	12.2	6.7	4.1	2.2	1.1
	50代	50.4	17.8	7.2	12.3	0.4	3.3	5.4	5.1	14.1	5.4	4.3	2.9	2.5
	60代	44.1	21.1	5.9	17.2	1.0	4.9	3.4	10.8	15.2	12.7	7.4	3.4	2.9
	70以上	50.7	17.4	5.8	20.3	4.3	2.9	8.7	13.0	17.4	15.9	13.0	8.7	1.4
居住地	北海道	45.2	16.7	2.4	14.3	-	2.4	-	7.1	38.1	11.9	9.5	7.1	4.8
	東北	29.0	32.3	3.2	6.5	3.2	9.7	6.5	12.9	32.3	19.4	19.4	12.9	3.2
	関東	32.8	31.7	7.3	15.1	1.6	3.2	7.5	8.1	20.4	11.8	5.4	3.2	2.7
	中部	28.6	26.2	6.3	21.4	1.6	2.4	5.6	11.1	30.2	16.7	11.1	4.8	1.6
	近畿	46.8	25.7	3.2	14.3	0.4	2.1	3.6	5.0	12.1	7.5	4.3	3.6	1.4
	中国	47.0	32.5	7.2	13.3	-	2.4	-	7.2	6.0	3.6	1.2	1.2	2.4
	四国	44.4	14.8	7.4	7.4	-	-	14.8	11.1	22.2	7.4	11.1	3.7	7.4
	九州	68.6	14.3	5.3	11.0	0.8	0.6	3.0	4.0	3.0	1.3	0.2	0.2	0.6

## ○長崎市に入る交通手段

長崎市に入るまでの交通手段をみると、「JR」(31.5%)が最も多く、以下「自家用車」(24.0%)、「飛行機+バス」(22.7%)と続く。このうち21年(19.1%)、22年(22.9%)、23年(25.6%)と増加していた「飛行機+バス」は、前回調査(平成24年:21.4%)で減少に転じたが、今回調査ではわずかに増加。一方、「JR」は22年(15.5%)、23年(21.2%)、24年(27.9%)と増加傾向。



性別では、女性が「JR」と「飛行機+バス」「高速バス」で割合が高い。また、男性でも「JR」は3割近くと最も高い割合を占めている。年齢層別では、「JR」が『40代』を除く各年代でトップ。『40代』では「自家用車」がトップで、次点に「JR」だが、「飛行機+バス」も同程度となっている。『60代』と『70以上』では「自家用車」と「飛行機+バス」の割合がそれぞれ同程度。居住地別にみると、「JR」は『中国』でトップとなり、『近畿』と『四国』がこれに続いている。旅行形態別にみると、『一人旅』における「JR」の割合は5割近くと圧倒的。一方、『家族旅行』で「JR」と「自家用車」の割合がともに高く、『友人・知人との旅行』では「JR」の割合が若干「自家用車」を上回っている。また、『団体旅行』では「貸切バス」の割合が高い。

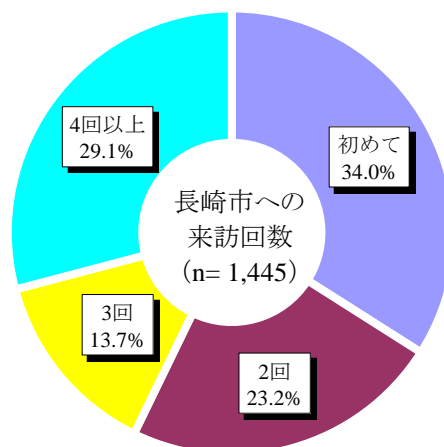
長崎市に入る交通手段 (n=1,447)

(%)

属性		JR	自家用車	飛行機+バス	レンタカー	貸切バス	高速バス	船舶	その他
全体		31.5	24.0	22.7	7.3	5.5	5.0	0.9	3.0
性別	男性	29.4	25.7	21.3	7.9	6.6	4.4	0.8	3.8
	女性	33.6	22.5	24.1	6.6	4.5	5.7	0.9	2.2
年齢層	20代	31.4	27.0	21.5	4.8	3.1	9.2	0.3	2.7
	30代	30.1	28.8	22.4	8.4	5.4	3.7	0.3	1.0
	40代	25.3	29.0	24.5	8.9	4.5	3.7	1.1	3.0
	50代	32.7	18.0	25.5	9.0	6.5	3.6	1.4	3.2
	60代	36.9	18.4	18.0	6.8	7.8	4.4	1.9	5.8
	70以上	45.1	15.5	16.9	2.8	12.7	2.8	-	4.2
居住地	北海道	16.7	7.1	45.2	23.8	-	4.8	-	2.4
	東北	32.3	-	29.0	9.7	9.7	9.7	-	9.7
	関東	16.9	5.9	49.1	12.6	4.3	5.1	0.5	5.6
	中部	38.4	12.8	27.2	8.0	8.0	1.6	-	4.0
	近畿	48.2	9.2	24.8	7.8	2.1	2.8	1.1	3.9
	中国	53.0	32.5	3.6	1.2	6.0	3.6	-	-
	四国	42.9	39.3	3.6	14.3	-	-	-	-
九州	28.5	50.8	1.3	1.7	8.4	7.3	1.7	0.4	
旅行形態	一人旅	48.1	8.7	24.0	-	0.5	13.9	0.5	4.3
	家族旅行	29.6	29.7	22.3	8.8	2.1	2.9	1.3	3.4
	友人・知人との旅行	32.1	29.7	21.4	8.8	1.1	5.5	0.5	0.8
	団体旅行	15.9	6.4	26.8	6.4	37.6	1.9	0.6	4.5

## ○長崎市への来訪回数

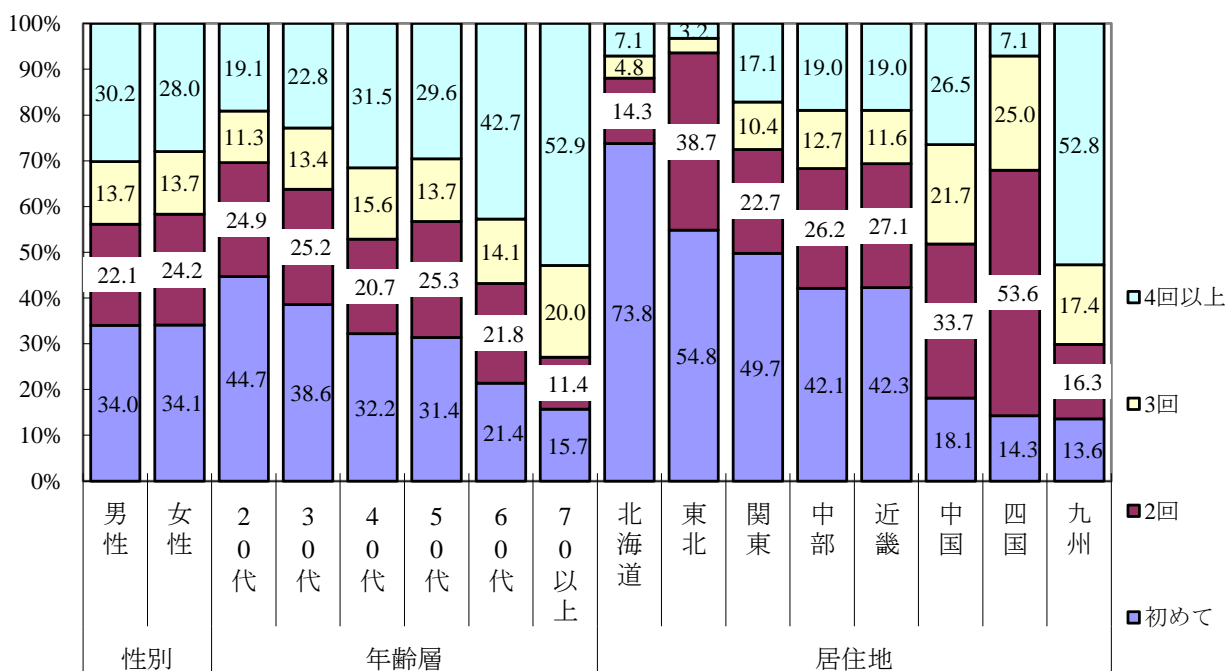
長崎市を訪れた回数（今回の旅行を含む）をみると、「初めて」が34.0%と、前回調査（平成24年：38.6%）から4.6ポイント、平成23年調査（36.1%）からも2.1ポイント減少した。一方、「2回」以上を合計したリピーター比率は66.0%と、前回調査（同61.4%）と平成23年調査（63.9%）をともに上回っている。



性別をみると、リピーター率は男女ほぼ同じ（男性66.0%、女性65.9%）。年齢層別では、『20代』で「初めて」が4割を超えており、年齢が上がるにつれ訪問回数が増加、『70以上』で「4回以上」が5割を超えている。

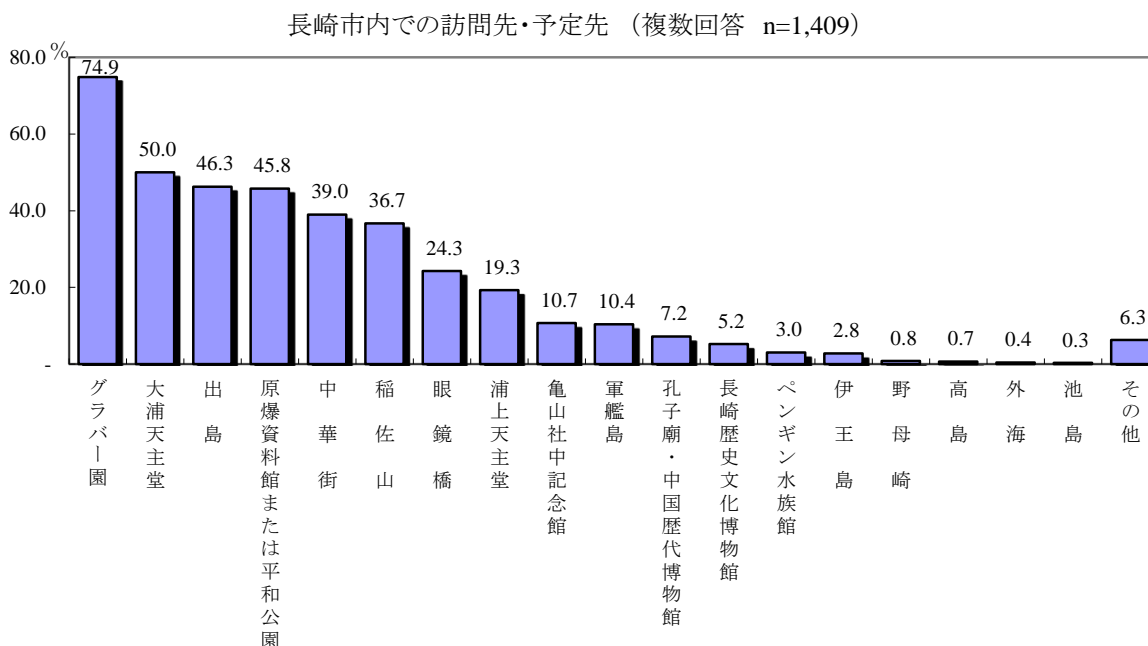
居住地別では、遠方ほど「初めて」の割合が高いなか、『東北』で「2回」の割合が高くなっており、震災の代替需要の影響も考えられる。

長崎市への訪問回数 (n=1,445)



## ○長崎市内の訪問先・訪問予定先（複数回答）

長崎市内での訪問先（訪問予定も含む）では、「グラバー園」（74.9%）が最も多く、以下「大浦天主堂」（50.0%）と「出島」（46.3%）が続く。また、「稲佐山」が平成22年の調査で11位（18.8%）、平成23年の調査で9位（21.1%）、前回（平成24年）の調査では6位（36.7%）と順位を徐々に上げてきており、今回調査では前回調査と同じ6位（36.7%）となった。これは、世界新三大夜景認定の影響も大きいものと思われる。また、世界遺産登録が期待されている「軍艦島」も今回調査は10位（10.4%）と、平成23年調査の14位（5.3%）、前回（平成24年）調査の12位（7.9%）から順位を上げてきている。



次に性別をみると、男女間で大きな差は見受けられないなか、男性の割合が比較的高いのが「出島」「亀山社中記念館」「軍艦島」。女性は「大浦天主堂」と「稲佐山」など。

年齢層別では、「浦上天主堂」と「孔子廟・中国歴代博物館」の人气が『40代』～『60代』で比較的高い。また「亀山社中記念館」は『30代』～『50代』に人気がある。一方、居住地域別にみると、『九州』で主要観光地への訪問比率が低いなか、「稲佐山」へは『中部』や『近畿』、『四国』よりも比率が高い。

来訪回数別では、「グラバー園」で『初めて』が8割超、『2回』と『3回』でも7割超と、長崎観光の主役であることがわかる。一方、「大浦天主堂」と「出島」で『初めて』～『4回以上』の各項目で4、5割台と安定した人気がかげえ、「軍艦島」では『4回以上』が「初めて」と同様2桁台となっており、熱心なファンも見受けられる。

宿泊数別では、“食”が絡む「中華街」と夜景観光の主役「稲佐山」で宿泊割合が増加。また、3泊以上をみると「長崎歴史文化博物館」と「ペンギン水族館」の割合が増すなか、遠隔地の「伊王島」「野母崎」「外海」の割合が高くなっている。

訪問・訪問予定先（複数回答、n=1,409）

（%）

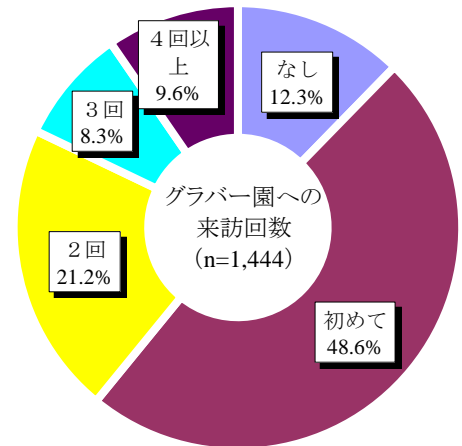
属性	グラ バー 園	大 浦 天 主 堂	出 島	原 爆 資 料 館 ま た は 平 和 公 園	中 華 街	稲 佐 山	眼 鏡 橋	浦 上 天 主 堂	亀 山 社 中 記 念 館	軍 艦 島	孔 子 廟 ・ 中 国 歴 代 博 物 館	長 崎 歴 史 文 化 博 物 館	ベ ン ギ ン 水 族 館	伊 王 島	野 母 崎	高 島	外 海	池 島	そ の 他	
全体	74.9	50.0	46.3	45.8	39.0	36.7	24.3	19.3	10.7	10.4	7.2	5.2	3.0	2.8	0.8	0.7	0.4	0.3	6.3	
性別	男性	72.9	47.6	51.1	47.8	38.7	32.9	25.1	19.9	12.6	12.3	7.4	5.5	3.2	2.9	1.0	0.6	0.6	0.4	4.0
	女性	76.8	52.2	41.6	43.9	39.2	40.6	23.5	18.7	8.9	8.7	7.0	4.9	2.8	0.6	0.8	0.3	0.1	8.5	
年齢層	20代	76.3	39.9	42.4	38.5	46.3	39.0	21.6	12.0	7.1	8.8	3.5	1.8	4.2	2.8	-	0.7	-	-	4.2
	30代	71.9	50.0	43.2	48.3	38.7	38.4	23.3	17.5	11.3	13.7	5.5	4.8	4.1	2.1	1.4	0.7	-	-	7.9
	40代	71.6	50.4	48.9	52.3	43.2	37.3	28.4	21.6	14.4	10.2	9.5	6.8	3.8	4.5	1.1	0.8	1.1	1.1	3.4
	50代	81.8	55.8	47.2	48.0	35.3	32.3	26.8	24.5	13.0	10.0	8.2	7.4	1.9	1.9	0.4	0.7	0.4	0.4	6.3
	60代	77.2	60.4	51.0	40.6	34.7	38.1	21.8	23.3	8.9	9.4	10.4	3.5	1.0	2.5	1.0	1.0	-	-	8.9
	70以上	59.4	37.7	36.2	36.2	13.0	21.2	17.4	17.4	5.8	10.1	4.3	8.7	-	4.3	1.4	-	1.4	-	11.6
居住地	北海道	88.1	47.6	61.9	64.3	47.6	42.9	31.0	23.8	19.0	9.5	11.9	4.8	-	4.8	2.4	-	-	-	4.8
	東北	76.7	46.7	63.3	76.7	26.7	33.3	30.0	40.0	-	-	20.0	3.3	3.3	-	-	-	-	-	-
	関東	77.0	60.3	55.7	54.9	43.5	36.2	31.9	24.9	13.5	13.8	7.8	5.7	1.9	4.1	-	1.6	0.3	0.8	3.5
	中部	77.5	49.2	43.3	50.0	40.0	25.0	25.0	24.2	12.5	12.5	5.0	3.3	1.7	0.8	-	-	0.8	-	6.7
	近畿	76.0	50.5	42.2	43.3	41.5	25.8	25.5	18.9	10.2	13.8	8.4	4.7	0.7	1.8	-	0.4	-	-	6.5
	中国	80.0	61.3	47.5	32.5	32.5	31.3	22.5	16.3	10.0	10.0	11.3	7.5	5.0	2.5	2.5	-	1.3	-	6.3
九州	96.4	64.3	39.3	39.3	42.9	21.4	21.4	17.9	14.3	10.7	7.1	14.3	3.6	3.6	3.6	-	-	-	-	
訪問回数	初めて	81.4	53.5	50.4	53.1	42.6	33.1	24.8	20.9	13.0	13.2	7.9	4.8	1.4	2.7	0.4	1.0	0.2	0.2	3.5
	2回	79.1	55.5	45.8	49.1	41.8	27.6	26.1	20.3	11.5	9.1	6.1	2.7	3.9	1.8	-	0.9	0.3	0.6	3.6
	3回	75.6	51.3	47.2	44.0	39.4	30.1	29.5	21.2	9.3	6.7	8.8	7.8	2.6	1.0	0.5	-	-	-	5.2
	4回以上	63.3	40.5	41.8	35.2	32.7	32.4	19.7	15.9	7.8	10.1	6.3	6.6	4.3	4.6	2.0	0.5	1.0	0.3	12.2
	の長 宿 泊 市 で	日帰り	73.9	41.4	39.6	39.6	38.7	8.1	26.1	10.8	5.3	7.2	5.4	4.5	0.9	1.8	0.9	0.9	-	-
1泊	77.6	53.3	46.7	43.1	37.9	33.8	21.4	17.2	12.7	11.1	7.0	5.0	3.7	2.8	0.9	0.6	0.1	0.1	4.4	
2泊	79.3	55.4	51.5	54.5	44.9	39.2	35.3	28.4	22.2	13.8	10.2	4.5	2.1	3.0	-	1.5	0.3	0.3	5.1	
3泊以上	68.6	43.0	44.2	54.7	47.7	41.9	24.4	27.9	20.8	10.5	5.8	7.0	5.8	5.8	2.3	-	1.2	-	12.8	

## 訪問回数

### 《グラバー園》

グラバー園への来訪回数は「初めて（1回）」が48.6%と半数近くを占め（平成24年：41.7%）、次いで「2回」が21.2%（同22.2%）、「3回」8.3%（同17.6%）、「4回以上」9.6%（同8.4%）と続いている。

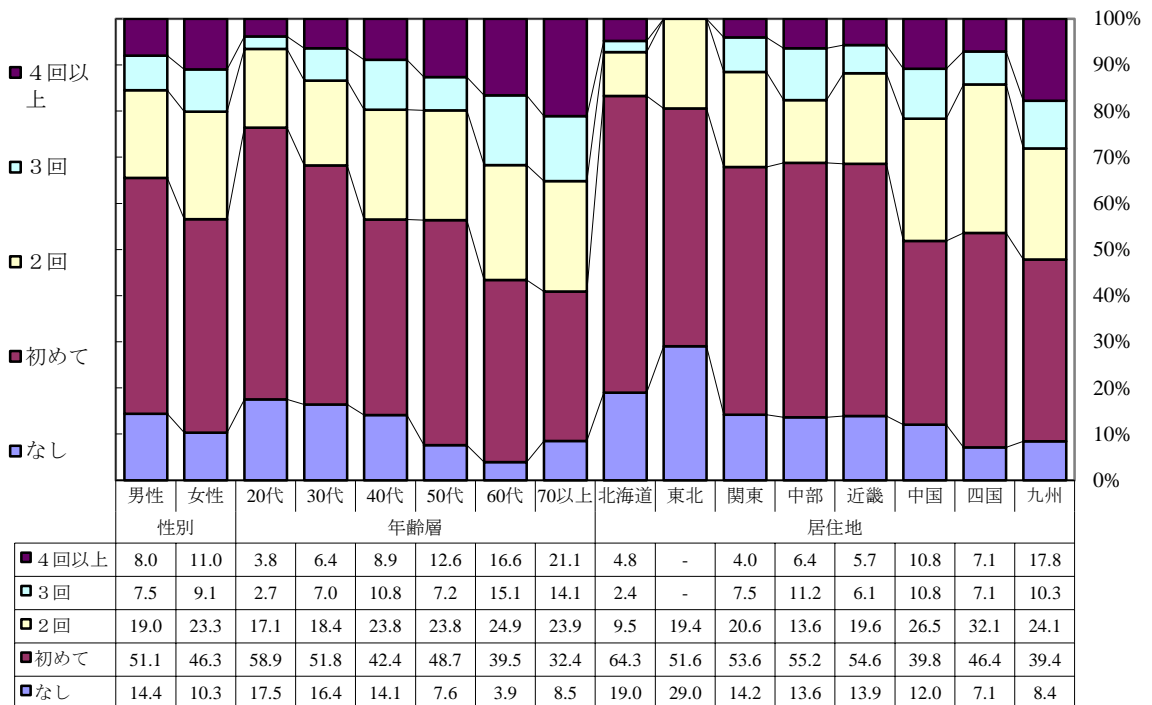
2回以上のリピーター割合は、平成18年調査54.2%、平成21年調査46.8%、平成22年調査38.4%と減少傾向にあり、平成23年調査では40.1%と持ち直したものの、前回（平成24年）の調査で38.2%と再び減少に転じており、今回調査でも39.1%とほぼ横這いの状況。



属性別では、性別では男性の方が「なし（行かないし、行ったこともない）」の割合が多い。年齢別では、「2回」以上とするリピーターが年齢と共に上昇しており、『50代』～『70以上』で「なし（行かないし、行ったこともない）」の割合は1桁台と低い。

居住地別にみると、「2回」以上とするリピーターは『九州』で5割を超えており、それ以外の地域では『四国』と『中国』で4割を超えている。

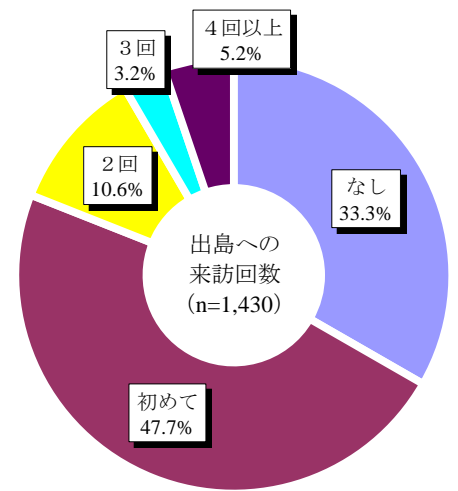
グラバー園への来訪回数 (n=1,444)





## 《出島》

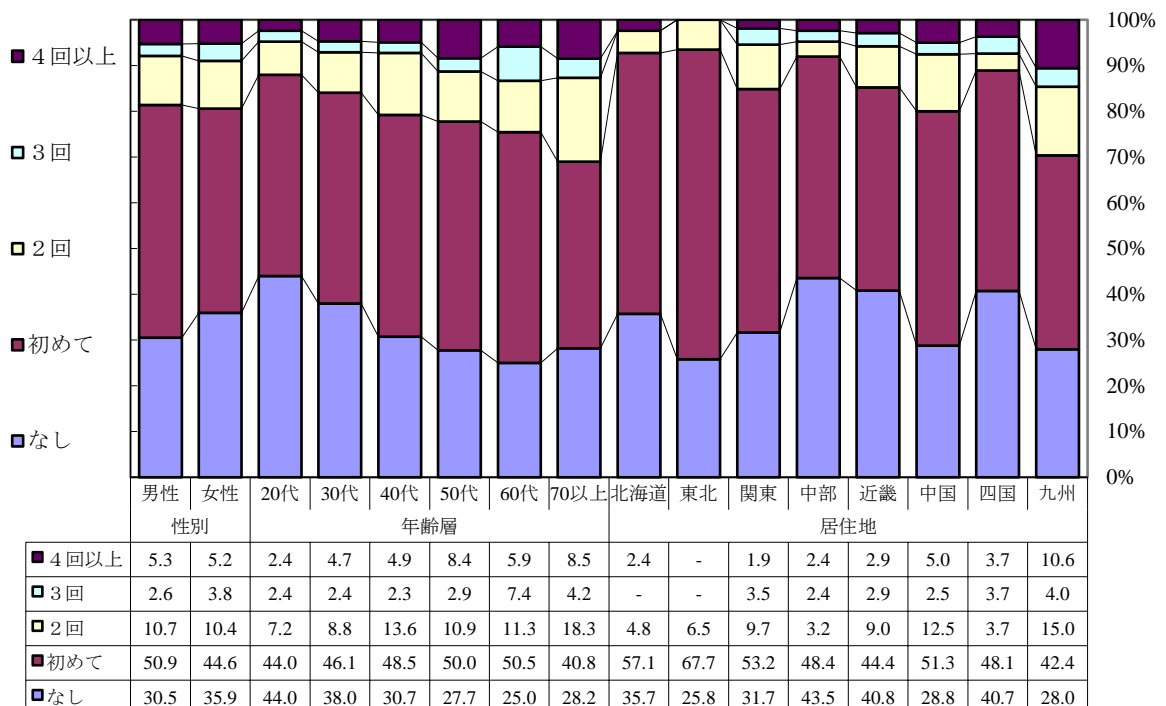
「出島」への訪問回数は、「初めて」が最も多く47.7%（平成24年：43.3%）。また、「なし（行かないし、行ったこともない）」は33.3%（同41.0%）であった。一方、「2回」が10.6%（同9.8%）と2桁台となり、「3回」も3.2%（同2.8%）と回復。また、平成18年調査20.7%、平成21年調査18.4%、平成22年調査12.0%と減少傾向にあった2回以上のリピーター割合は、平成23年の調査で17.1%と上向いたものの、前回（平成24年）調査で15.8%と再び減少、今回の調査で19.0%と持ち直した。



属性別にみると、性別では男性で「初めて」が5割超と高い。年齢層別では、「なし」の割合が『20代』で4割超、『30代』と『40代』でも3割を超えており、若年層からは訪問地として選択されていない傾向が見受けられる。また、「初めて」は『50代』と『60代』で5割を超えている。一方、「2回」以上となるリピーター割合が最も多いのは『70以上』の31.0%。

また、居住地別にみると、「なし」の割合が『中部』『近畿』『四国』で4割を超えている一方、『東北』『中国』『九州』では2割台。また、「2回」以上のリピーター割合は、『九州』でも3割に届いておらず、『北海道』『東北』『中部』で1割台。

出島への来訪回数 (n=1,430)



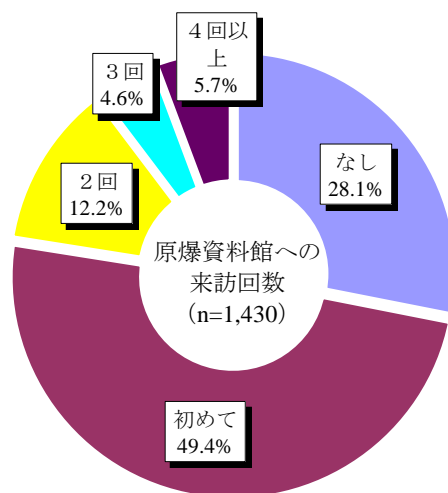
## 《原爆資料館》

原爆資料館の来訪回数は「初めて」が49.4%と半数近くとなり、これまでの調査結果（平成24年：44.0%、平成23年：46.3%）から上昇している。一方、「なし（行かないし、行ったこともない）」は28.1%と、これまでの調査結果（同32.7%、同31.2%）から減少し、3割未満となった。

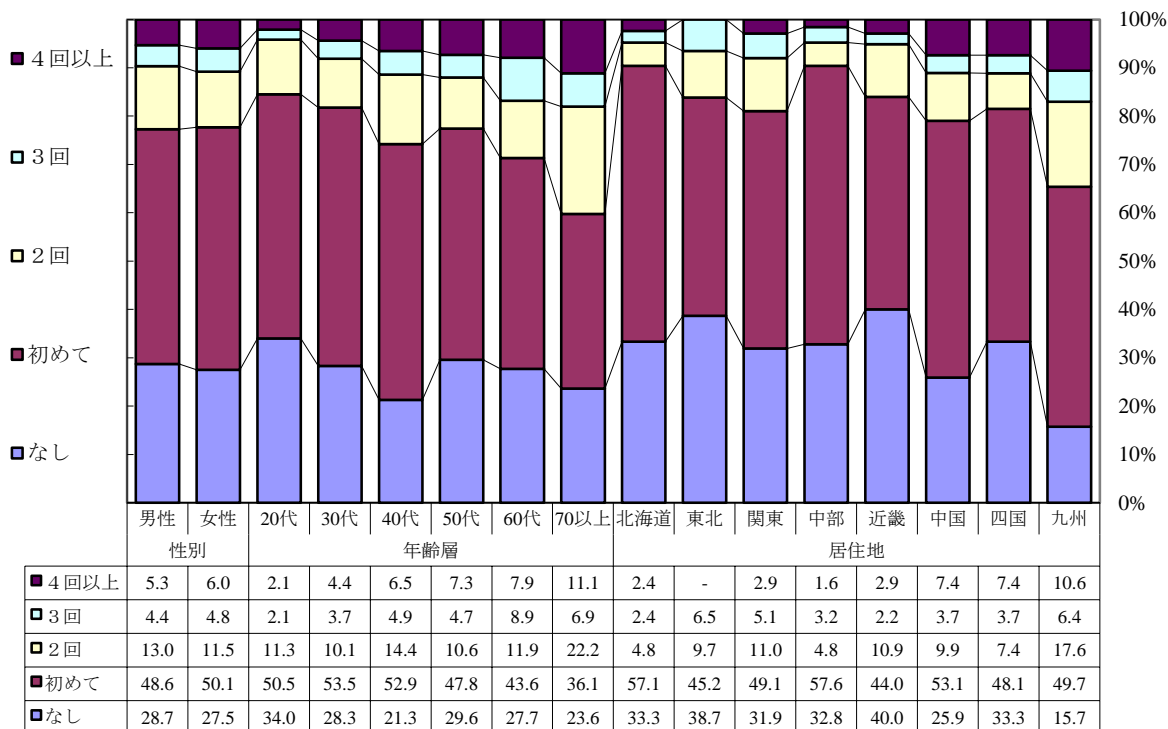
「2回」以上のリピーター割合では、平成18年調査32.5%、平成21年調査27.4%、平成22年調査19.3%と減少傾向にあったが、平成23年調査（22.6%）と前回調査（平成24年：23.3%）と持ち直してきており、今回調査（22.5%）でも平成23年並みとなっている。

属性別にみると、年齢層別では、『50代』以下の年代で「初めて」の割合が5割を超え、年代が上がるほど「2回」以上のリピーター割合が高くなっている。

居住地別にみると、『北海道』『中部』『中国』で「初めて」の割合が5割を超えており、『九州』を除く地域では『中国』で「2回」以上のリピーター率が2割超。



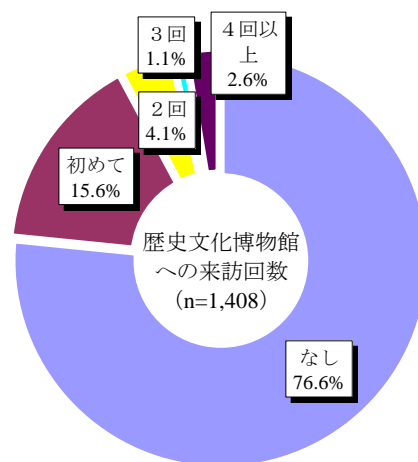
原爆資料館への来訪回数 (n=1,430)



## 《長崎歴史文化博物館》

長崎歴史文化博物館の来訪回数では「初めて」が15.6%と最も多いが、前回（平成24年）調査（20.2%）から4.6ポイント減少しており、「なし（行かないし、行ったこともない）」の割合が76.6%と、前回調査（73.6%）から3ポイント増加している。

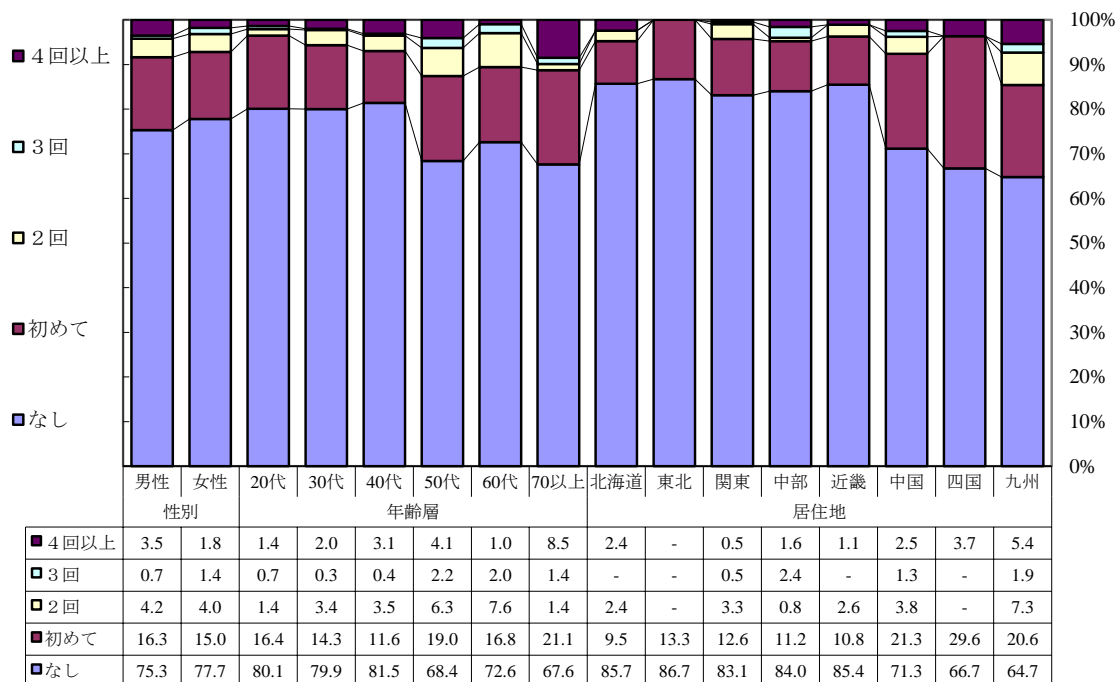
「2回」以上のリピーター割合も7.8%と低く（前回調査は6.2%）、「博物館」という施設の性格上、特別展など企画展に左右される部分が大いものと推察される。



属性別にみると、年齢層別では各年代とも「なし（行かないし、行ったこともない）」が6～8割台となっているなか、『50代』～『70以上』で「2回」以上のリピーター割合が2桁台となっている。

居住地別にみると、「なし（行かないし、行ったこともない）」が『四国』と『九州』を除く全ての地域で7、8割台であり、『九州』では唯一「2回」以上のリピーター割合が10%を超える。

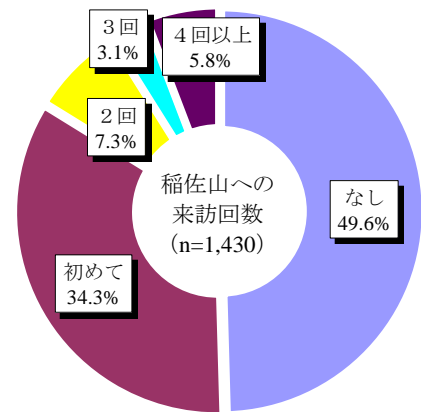
長崎歴史文化博物館への来訪回数 (n=1,408)



## 《稲佐山》

稲佐山の来訪回数では、「初めて」が34.3%と、前回調査（平成24年：35.7%）比1.4ポイント減少しており、「なし（行かないし、行ったこともない）」も49.6%と、前回調査（同51.6%）比2ポイント減となった。

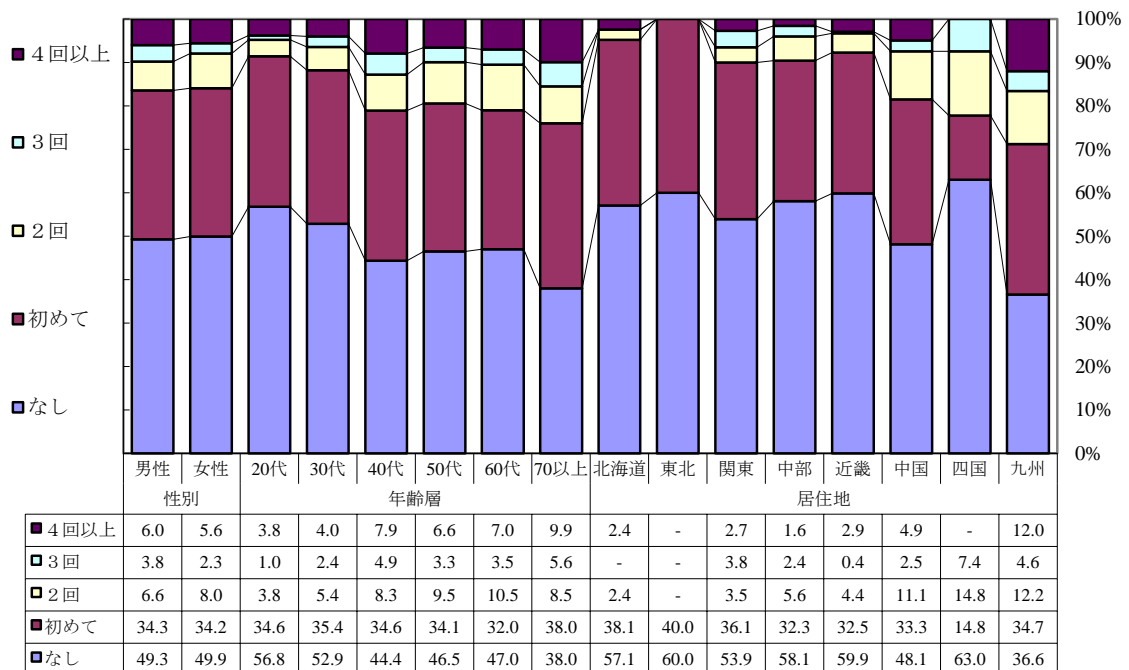
その一方で「2回」以上のリピーター割合は、16.2%と前回調査（同12.7%）比3.5ポイント増加しており、新三大夜景認定の影響も考えられる。



属性別にみると、年齢層別では「2回」以上のリピーター割合は、『40代』以上で2割前後。

居住地別にみると、「なし（行かないし、行ったこともない）」が『東北』と『四国』で6割を超えるが、地元『九州』での「2回」以上のリピーター割合は3割近くとなっている。

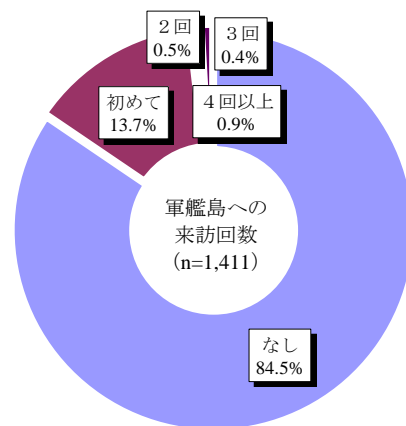
稲佐山への来訪回数 (n=1,430)



## 《軍艦島》

軍艦島の来訪回数では、「初めて」が 13.7%と前回調査（平成 24 年：10.0%）比 3.7 ポイント増加し、「なし（行かないし、行ったこともない）」が 84.5%と前年調査（同 88.2%）からその分減少している。

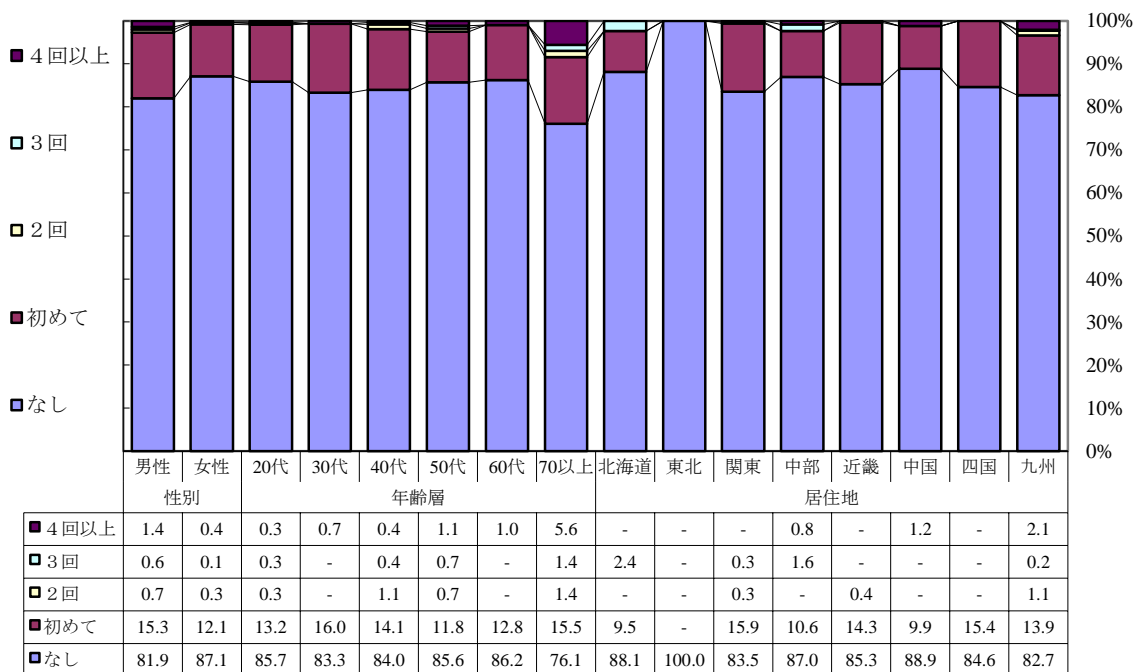
結果、「2 回」以上のリピーター割合は 1.8%と前回調査と変わらず、上陸者数がまもなく 40 万人を超えようとするなか、世界遺産登録を控えている長崎市を代表する観光施設の 1 つとして、今後はリピーター対策が課題となってくる。



属性別にみると、年齢層別では『70 以上』を除く世代で「なし（行かないし、行ったこともない）」が 8 割台となっている。リピート率では、『70 以上』で「4 回以上」の割合が最も高い (5.6%) が、これは、元島民や炭鉱全盛時代を体験している世代が多い年齢層であることが影響しているものと思われる。

居住地別でみると、『東北』の 100%をはじめ、他の地域でも「なし（行かないし、行ったこともない）」が 8 割台となっている。また、リピート率では『九州』を除くと、『北海道』と『中部』がそれぞれ 2.4%で最も高い。

軍艦島への来訪回数 (n=1,411)

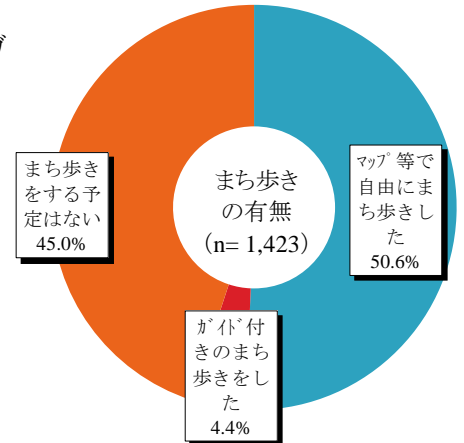


**【まち歩きの有無や祭り・行事の認知度】**

○まち歩きの有無

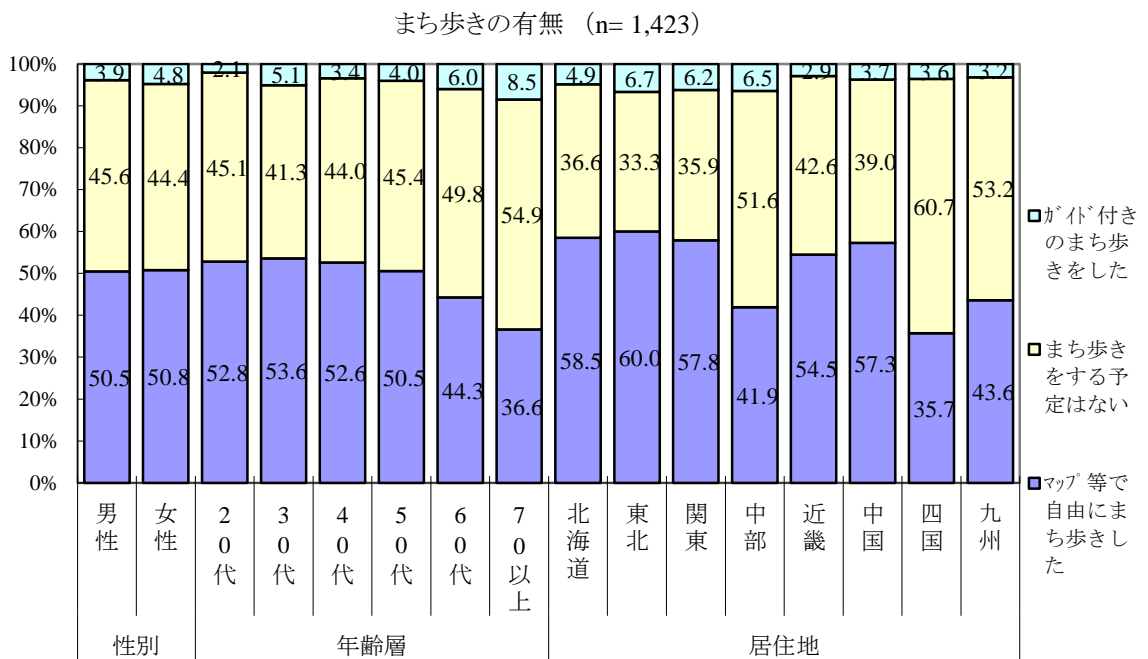
長崎さるくに代表されるまち歩き観光体験の有無では、「マップ等で自由にまち歩き」(50.6%)と「ガイド付きまち歩き」(4.4%)を合わせると55.0%と、前回調査(平成24年:50.3%)と同様、5割を超えており、長崎市を訪れた人の半数以上がまち歩き観光を行っていることがわかる。

一方、「まち歩きをする予定はない」とした観光客も45.0%と多く、まち歩き観光にはまだ工夫の余地が残されていることも考えられる。



年齢別にみると、『70以上』で「ガイド付きのまち歩き」割合が比較的高い一方で、高「まち歩きの予定はない」も5割を超える。

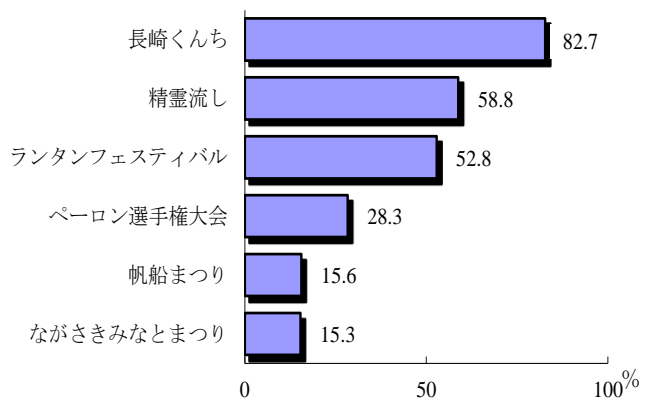
居住地別では、『東北』で「マップ等で自由にまち歩き」が唯一6割となっており、『東北』『関東』『中部』では「ガイド付きまち歩き」の割合が比較的高い。また『四国』では「まち歩きをする予定がない」が6割超を占める。



## ○祭りや行事の認知度

長崎市の祭りや行事の認知度をみると、「長崎くんち」(82.7%、平成24年:74.9%)、「精霊流し」(58.8%、同53.6%)、「ランタンフェスティバル」(52.8%、同50.8%)の上位ベスト3と、最も認知度の低い「ながさきみなとまつり」(15.3%、同11.3%)は、前回調査(平成24年)で低下していた認知割合が回復。また、「ペーロン選手権大会」(28.3%、同24.9%)と「長崎帆船まつり」(15.6%、同13.5%)の認知度も上昇している。

長崎のお祭り・行事の認知度  
(複数回答、n=1,244)



年齢層別にみると、「長崎くんち」は『20代』以外の年代における認知度が群を抜いている。また「精霊流し」は全年代で5~6割台と安定しているが、「ランタンフェスティバル」の『50代』以上における認知度は4割台と低め。

居住地別では、「くんち」に次いで「精霊流し」も『東北』と『中部』を除く地域で5割弱~6割台の認知度を誇る。「ランタンフェスティバル」は、8割近い認知度の『九州』と5割台の『中国』を除く地域で3~4割台となっているが、『四国』は1割台と低迷。その他、「ペーロン」が『九州』をはじめ、『東北』と『近畿』で3割台となっている。

長崎のお祭り・行事の認知度 (複数回答、n=1,244)

(%)

属性		長崎くんち	精霊流し	ランタンフェスティバル	ペーロン選手権大会	帆船まつり	ながさきみなとまつり
全体		82.7	58.8	52.8	28.3	15.6	15.3
性別	男性	82.8	59.3	50.4	34.0	17.0	16.5
	女性	82.6	58.4	55.1	22.8	14.2	14.1
年齢層	20代	60.3	53.9	58.2	13.4	12.9	14.2
	30代	81.4	56.7	61.9	15.4	12.1	11.3
	40代	88.6	61.6	56.1	30.8	14.3	13.9
	50代	93.2	65.9	45.8	39.0	17.3	17.7
	60代	92.2	57.8	42.7	46.4	19.8	16.7
	70以上	87.3	54.0	47.6	33.3	23.8	27.0
居住地	北海道	83.8	59.5	43.2	29.7	10.8	8.1
	東北	87.5	45.8	41.7	37.5	4.2	-
	関東	81.1	61.6	36.8	21.7	8.8	7.2
	中部	85.1	49.5	37.6	19.8	10.9	11.9
	近畿	79.5	52.4	38.0	34.9	7.9	10.0
	中国	85.1	64.2	56.7	26.9	7.5	9.0
	四国	72.7	68.2	18.2	9.1	-	9.1
	九州	84.7	61.5	77.9	32.0	28.4	26.8

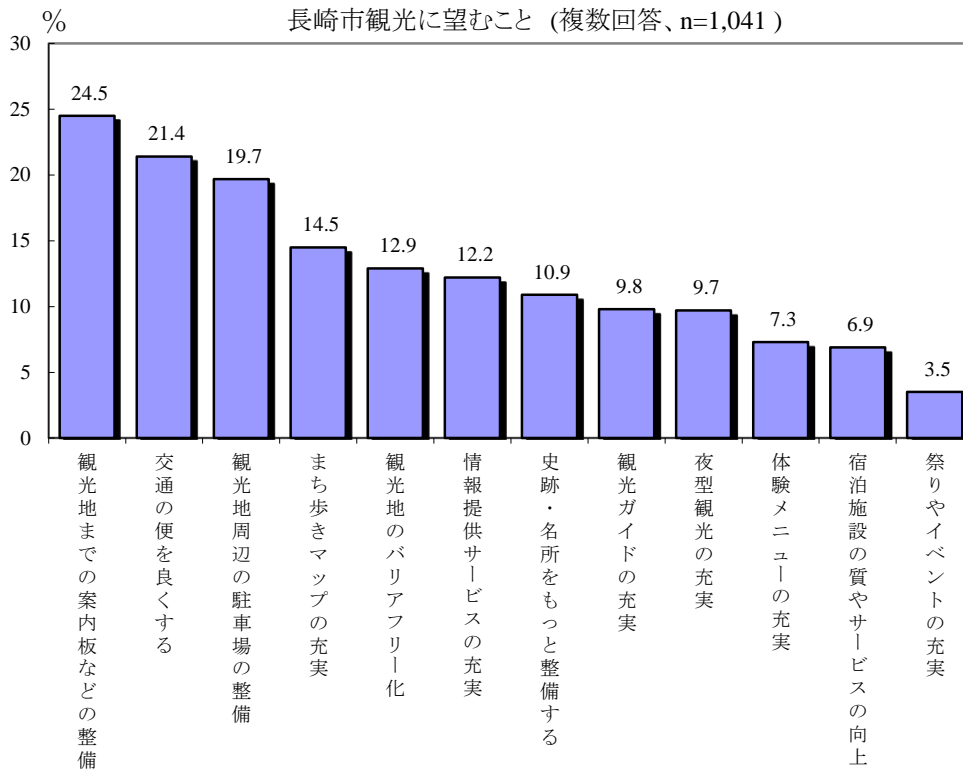
## 【市内観光に対する要望と「食」「土産」の傾向】

### ○長崎市観光に望むこと

長崎市がより良い観光地になるために望むこと（複数回答）の上位をみると、「観光地までの案内板などの整備」24.5%（平成24年：20.5%）、「交通の便を良くする」21.4%（同19.9%）、「観光地周辺の駐車場の整備」19.7%（同18.2%）、「まち歩きマップの充実」14.5%（同15.4%）となり、前回調査と同じ順位となった。また、5位には前年10位の「観光地のバリアフリー化」が12.9%（同8.5%）でランクインした。

年代別にみると、「観光地までの案内板などの整備」は『50代』で3割を超えており、「交通の便を良くする」では『50代』以下で2割を超えている。また、「観光ガイドの充実」が『60代』以上の高齢層で、「夜型観光の充実」が『30代』以下の若年層でそれぞれ高めの割合となっている。

居住地別では、「観光地までの案内板などの整備」が『北海道』で5割近くと高く、「観光地周辺の駐車場の整備」は、自家用車利用の多い『中国』『四国』で3割を超える。また、『北海道』で「情報提供サービスの充実」が、『四国』で「観光ガイドの充実」がそれぞれ2割を超えている。





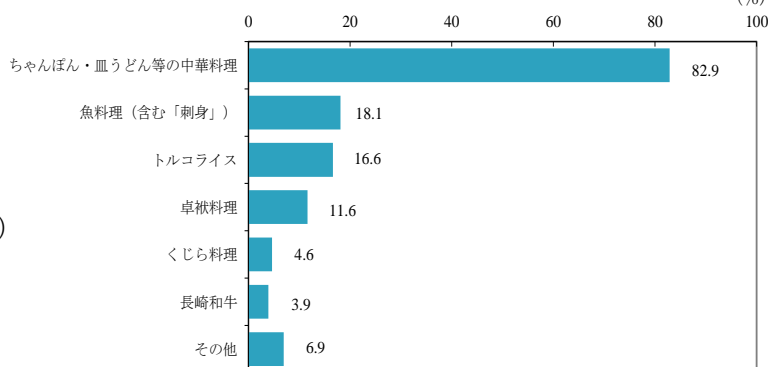
長崎市観光に望むこと(複数回答、n=1,041)

属性	観光地までの案内板などの整備	交通の便を良くする	観光地周辺の駐車場の整備	まち歩きマップの充実	観光地のバリアフリー化	情報提供サービスの充実	史跡・名所をもっと整備する	観光ガイドの充実	夜型観光の充実	体験メニューの充実	宿泊施設の質やサービスの向上	祭りやイベントの充実	
全体	24.5	21.4	19.7	14.5	12.9	12.2	10.9	9.8	9.7	7.3	6.9	3.5	
性別	男性	23.0	23.2	22.0	15.6	12.5	12.4	10.8	9.8	10.0	6.6	7.5	3.5
	女性	26.0	19.7	17.4	13.4	13.2	12.0	10.9	9.8	9.4	8.0	6.3	3.4
年齢層	20代	20.2	29.1	14.8	13.0	12.1	11.2	10.8	9.9	13.5	11.2	9.4	5.8
	30代	20.5	20.5	21.0	13.8	12.9	11.4	13.8	8.6	10.5	5.2	4.8	4.3
	40代	27.7	20.9	23.8	12.1	10.7	15.5	10.2	6.3	9.7	10.2	8.3	2.9
	50代	30.9	20.7	20.2	18.6	12.2	14.4	11.7	9.6	4.8	3.2	9.0	2.7
	60代	24.5	16.5	23.7	16.5	16.5	7.9	7.2	13.7	9.4	2.2	2.2	0.7
	70以上	19.6	11.8	11.8	13.7	19.6	9.8	11.8	15.7	3.9	11.8	3.9	2.0
居住地	北海道	47.1	14.7	8.8	11.8	8.8	26.5	2.9	5.9	17.6	2.9	2.9	-
	東北	36.4	18.2	4.5	9.1	4.5	13.6	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	-
	関東	22.3	21.9	13.4	16.0	11.5	16.7	11.2	11.9	7.8	7.8	6.7	2.6
	中部	23.8	20.0	18.8	22.5	8.8	7.5	11.3	12.5	8.8	8.8	3.8	1.3
	近畿	21.5	18.5	14.5	18.5	14.0	13.5	14.0	12.0	14.0	8.5	7.0	5.0
	中国	22.0	25.4	32.2	8.5	5.1	8.5	8.5	6.8	5.1	1.7	3.4	-
	四国	25.0	31.3	31.3	18.8	12.5	18.8	-	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3
九州	25.3	22.8	26.7	10.9	16.4	8.1	10.6	6.1	9.2	7.2	8.6	4.7	

## ○「食」の傾向

長崎市で食べた（食べる）料理を尋ねたところ、「ちゃんぽん・皿うどん等の中華料理」が82.9%（平成24年：86.3%）と他を圧倒。次いで「魚料理」が18.1%（同21.1%）、「トルコライス」16.6%（同17.1%）。「卓袱料理」が11.6%（同9.6%）と、2桁台となった。「くじら料理」は4.6%（同5.5%）、「長崎和牛」は3.9%（同4.1%）といずれも1桁台にとどまった。

長崎市で食べた（食べる予定の）食事（複数回答、n=1,422） (%)



性別では、「魚料理」で男女間の差が最も大きく、男性の割合が高い。年齢層別にみると、「ちゃんぽん・皿うどん等の中華料理」の割合が各年代において圧倒的に高く、また「トルコライス」は若年層に「卓袱料理」は『40代』以上で割合が高い。

居住地別でも、「ちゃんぽん・皿うどん等の中華料理」が全地域で圧倒的ななか、『関東』『中部』『四国』で「魚料理」が、『北海道』と『中国』で「トルコライス」、『東北』では「卓袱料理」がそれぞれ2桁台と健闘。

長崎市で食べた（食べる予定の）食事（複数回答、n=1,422）

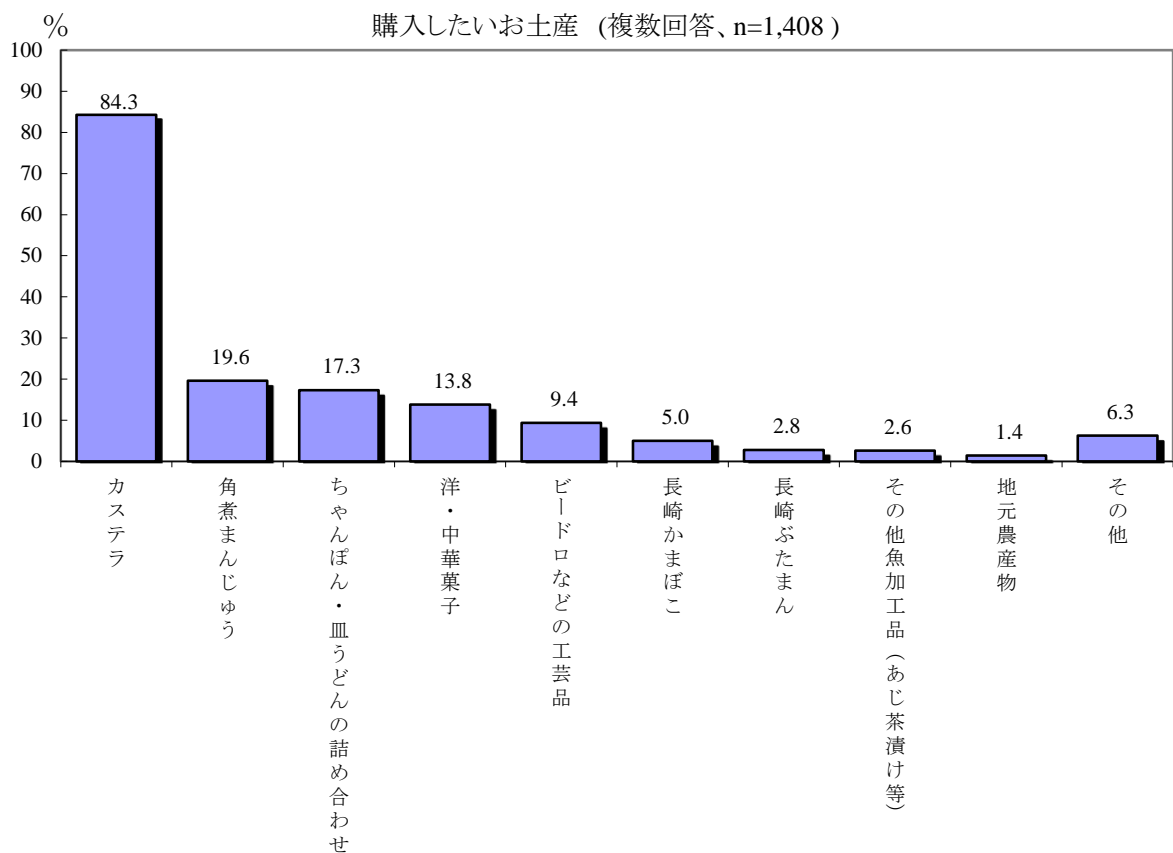
属性		ちゃんぽん等の中華料理・皿うどん	魚料理（含む「刺身」）	トルコライス	卓袱料理	くじら料理	長崎和牛	その他
全体		82.9	18.1	16.6	11.6	4.6	3.9	6.9
性別	男性	84.1	20.1	16.6	10.3	4.3	3.7	5.9
	女性	81.7	16.1	16.6	12.9	5.0	4.2	7.9
年齢層	20代	78.3	15.0	19.9	4.9	3.5	5.9	9.1
	30代	84.6	14.3	22.9	8.5	5.5	3.4	4.1
	40代	87.6	22.5	17.6	12.0	5.6	2.6	3.4
	50代	78.3	22.8	15.1	14.7	4.0	5.1	8.8
	60代	86.8	15.2	8.8	19.1	4.9	2.5	10.3
	70以上	81.2	17.4	2.9	15.9	2.9	2.9	5.8
居住地	北海道	92.9	19.0	21.4	16.7	4.8	2.4	-
	東北	86.7	16.7	10.0	20.0	3.3	6.7	3.3
	関東	87.0	24.3	19.5	14.9	5.4	4.9	5.1
	中部	81.3	22.0	16.3	15.4	8.1	3.3	4.1
	近畿	87.4	18.3	15.1	10.4	5.4	5.0	3.2
	中国	90.0	10.0	22.5	13.8	5.0	5.0	3.8
	四国	78.6	21.4	3.6	7.1	10.7	7.1	7.1
九州	75.3	12.9	15.0	7.7	2.4	2.1	12.7	

## ○「土産」の傾向

長崎市でどのような土産を購入したいのかを尋ねたところ、「カステラ」が84.3%（平成24年：84.5%）と群を抜いており、「角煮まんじゅう」が19.6%（同21.4%）で次点、「ちゃんぽん・皿うどんの詰め合わせ」が17.3%（同19.5%）で3位と、前回調査（平成24年）と同じ順位となっている。以下、「洋・中華菓子」が13.8%（同11.8%）と前回調査から1ランクアップして4位、「ビードロなどの工芸品」が9.4%（同13.5%）と1ランクダウンの5位。

性別をみると、「長崎ぶたまん」を除く全商品で女性の割合が高い。年齢層別では、「カステラ」が各年代に渡って圧倒的に支持されているなか、「長崎かまぼこ」が『60代』に、「長崎ぶたまん」と「その他魚加工品」が『40代』にそれぞれ比較的割合が高い。

居住地別でも「カステラ」が圧倒しており、『北海道』と『中国』『四国』で9割を超えるなか、地元『九州』では7割台にとどまった。その他では、「角煮まんじゅう」が『中国』と『九州』で、「ちゃんぽん・皿うどんの詰め合わせ」が『東北』と『中部』『近畿』にて、「ビードロなどの工芸品」が『四国』にてそれぞれ比較的割合が高かった。



購入したいお土産(複数回答、n=1,408)

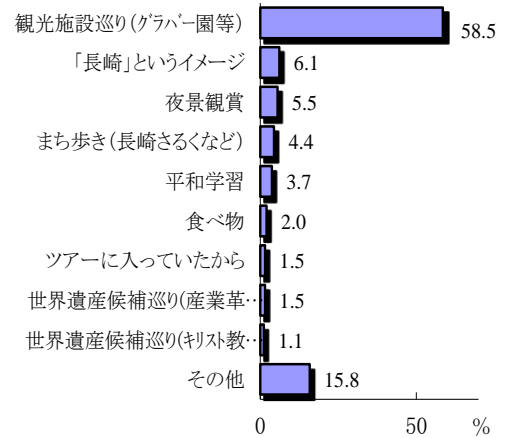
属性		カステラ	角煮まんじゅう	ちやんぼん・皿うどんの詰め合わせ	洋・中華菓子	品ビードロなどの工芸	長崎かまぼこ	長崎ぶたまん	その他魚加工品(あじ茶漬け等)	地元農産物	その他
全体		84.3	19.6	17.3	13.8	9.4	5.0	2.8	2.6	1.4	6.3
性別	男性	83.5	16.9	16.8	10.3	7.4	3.5	3.3	2.2	0.7	6.9
	女性	85.1	22.2	17.7	17.3	11.4	6.6	2.4	2.9	2.1	5.7
年齢層	20代	82.3	21.6	12.7	13.1	11.0	2.5	3.2	0.4	1.8	4.9
	30代	84.8	19.4	15.6	15.9	8.0	5.5	3.1	3.5	1.4	6.6
	40代	83.7	17.9	21.7	14.4	12.2	4.6	4.6	5.7	1.1	5.3
	50代	87.4	21.1	21.9	11.5	10.7	5.6	1.5	2.2	1.9	8.5
	60代	85.3	16.2	14.2	14.7	4.9	8.8	2.0	1.5	1.5	5.9
	70以上	80.9	14.7	19.1	8.8	4.4	4.4	1.5	1.5	-	8.8
居住地	北海道	90.2	14.6	14.6	19.5	17.1	2.4	2.4	4.9	-	7.3
	東北	89.7	10.3	27.6	17.2	13.8	6.9	3.4	-	3.4	6.9
	関東	84.6	18.7	18.7	11.4	10.0	5.1	2.2	4.1	1.6	6.5
	中部	87.7	17.2	22.1	15.6	10.7	5.7	1.6	-	1.6	4.9
	近畿	87.1	16.4	22.9	18.2	10.0	7.9	2.1	3.2	0.7	3.6
	中国	91.5	25.6	13.4	14.6	13.4	2.4	3.7	-	1.2	6.1
	四国	92.9	17.9	10.7	10.7	21.4	-	10.7	-	-	-
	九州	78.8	23.0	11.7	12.2	6.0	3.8	3.3	2.0	1.8	8.4

## 【長崎市を旅行先に決めた理由・目的】

長崎市を今回の旅行先に決めた理由や目的は、「観光施設巡り」が最も多く 58.5%（平成 24 年：45.6%）と圧倒的で、次点の「長崎というイメージ」は 6.1%と前回調査（平成 24 年）の 13.2%から 7.1 ポイントの大幅減。3 位には「夜景観賞」が 5.5%（同 5.5%）と前回調査と同じ割合ながら 5 位から浮上。以下、「まち歩き」が 4.4%（同 6.0%）で前回調査と変わらず 4 位に、続いて「平和学習」が 3.7%（同 4.4%）で 1 ランクアップの 5 位となっている。

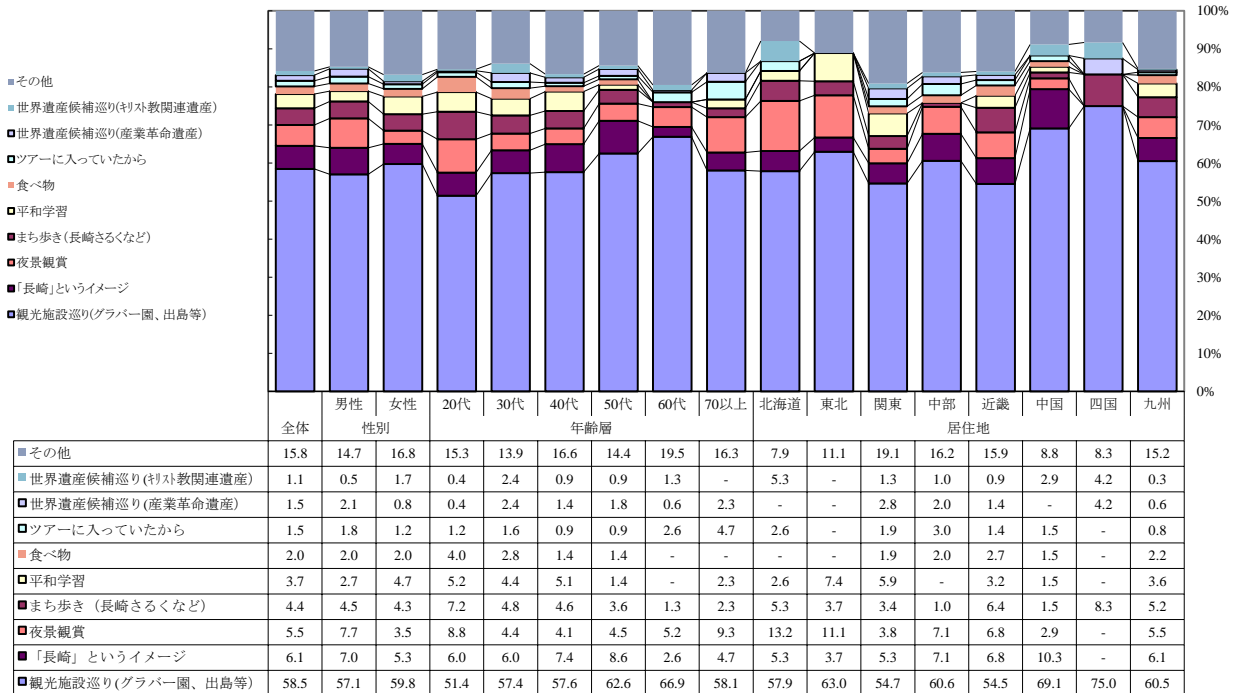
また、「その他」の回答のなかには、「結婚式」や「同窓会」などがあげられていた。

長崎市を旅行先に決めた理由・目的  
(n= 1,161)



属性別では『30代』以下の若年層で「食べ物」が、『60代』以上で「ツアーに入っていたから」との割合が比較的高い。また、居住地別では『四国』で「長崎というイメージ」が、『北海道』と『東北』で「夜景観賞」の割合がそれぞれ他地域より高い。

長崎市を旅行先に決めた理由・目的 (n= 1,161)



## 【1人あたりの旅行費用】

### ○旅行全体の費用

観光目的で来訪した人について、旅行全体の費用の1人あたり平均金額をみると、51,575円（平成24年：52,967円）。このうち「日帰り」旅行では14,488円（同15,072円）、「宿泊」旅行の場合は55,614円（同56,839円）。旅行金額に減少傾向が見受けられる。

宿泊の日程別では、1泊2日の35,900円（同34,133円）に対し、2泊3日は58,066円（同61,071円）と約22千円差、3泊4日では67,718円（同73,544円）で、2泊3日との差は約10千円と、泊数が増えるにつれてその差は縮小傾向にある。

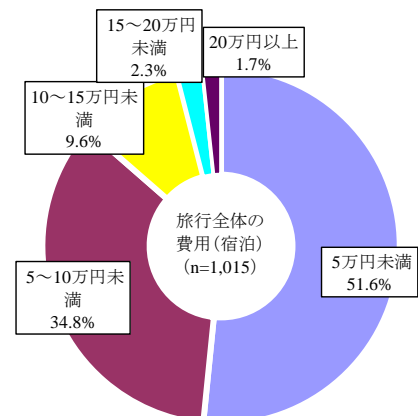
属性別にみると、年齢別では収入面が安定している「40代」と「50代」がともに5万円台。時間・収入ともに比較的余裕のある「60代」以上で6万円台～となっている。また居住地別では、「北海道」で9万円を超えており、「東北」と「中部」が7万円台、「関東」と「近畿」が6万円台となっている。

宿泊における旅行全体費用を金額階層別にみると、「5万円未満」が51.6%（同44.5%）と最も多く、次いで「5～10万円未満」が34.8（同35.2%）となっている。これまでの調査と比べると、「5万円未満」の割合が50%を超えている半面、「5～10万円未満」の層が昨年並みだったため、10万円からの層が減少している。

観光目的で来訪した人の  
旅行全体の費用（n=1,015）

（円）

属性	旅行全体の費用の平均額	
全体	51,575	
旅行日程	日帰り	14,488
	宿泊	55,614
	1泊2日	35,900
	2泊3日	58,066
	3泊4日	67,718
	4泊5日	88,364
性別	5泊6日以上	142,500
	男性	50,353
年齢層	女性	52,743
	20代	41,092
	30代	44,365
	40代	51,260
	50代	55,325
	60代	69,409
居住地	70以上	80,025
	北海道	95,783
	東北	70,278
	関東	69,210
	中部	73,063
	近畿	60,245
	中国	43,815
四国	47,182	
九州	25,363	



## ○長崎市における消費額

観光目的で来訪した人の長崎市内における消費額は、1人あたりの平均で27,848円（平成24年：30,362円）だった。費目別の内訳をみると、「宿泊代」が12,424円（同10,975円）と最も大きく、次いで「おみやげ・買物代」5,720円（同6,094円）、「飲食代」5,496円（同6,138円）、「入場・観覧料」1,672円（同2,288円）、「交通費」1,637円（同1,934円）となっている。なかでも「宿泊代」はここ3年で最も高い。

次に、市内宿泊数別の消費額をみると、「0泊（日帰り）」11,826円（同13,828円）、「1泊」24,948円（同28,123円）、「2泊」34,880円（同36,192円）、「3泊以上」49,364円（同52,418円）となっている。これまでの調査結果から「日帰り」の消費額が減少してきており、宿泊を伴う旅行にある程度お金をかける傾向が見受けられる。

観光目的で来訪した人の長崎市内における一人当たり消費額

（長崎市内での宿泊数別）

（円）

長崎市内での宿泊数	交通費	おみやげ・買物代	飲食代	宿泊代	入場・観覧料	その他	計
0泊(日帰り)	1,062	4,755	3,689	—	1,460	860	11,826
1泊	1,454	5,718	5,238	10,125	1,627	786	24,948
2泊	2,186	6,958	6,966	15,884	1,978	907	34,880
3泊以上	2,712	8,222	10,567	20,658	2,018	5,188	49,364
全体の平均	1,637	5,720	5,496	12,424	1,672	901	27,848

長崎市内での消費額を居住地（発地）別にみると、「四国」の26,400円（同24,322円）から「中部」の34,184円（同29,990円）まで幅があり、これは概ね市内での滞在時間（宿泊数）や『遠方から来崎した』という、観光客の気持ちの差を反映したものであろうと考えられる。

観光目的で来訪した人の長崎市内における一人当たり消費額

（居住地別）

（円）

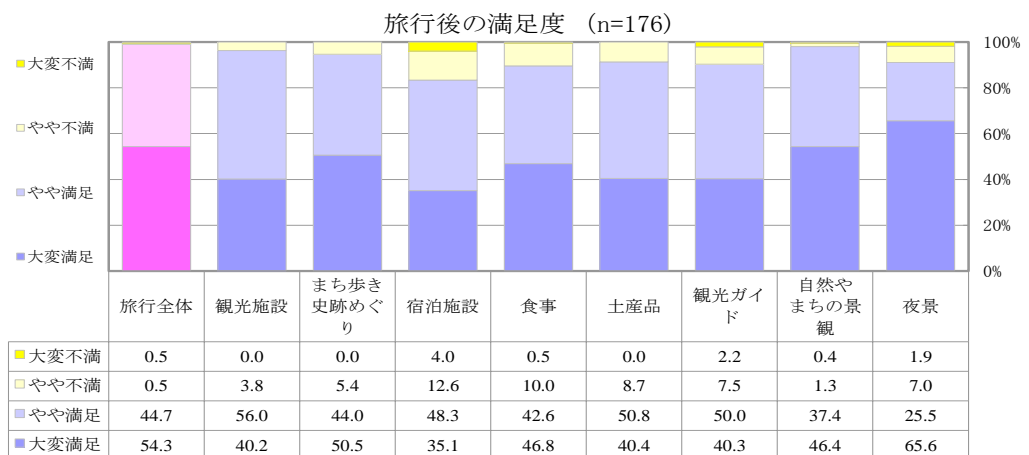
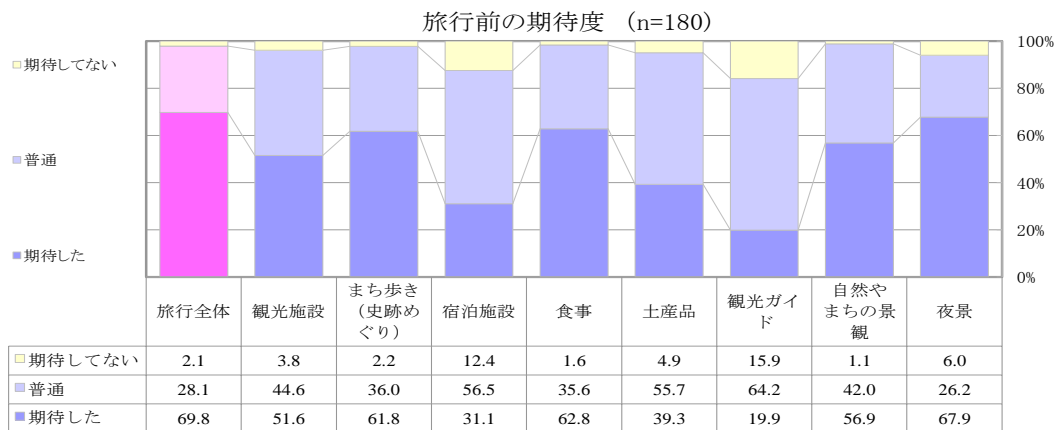
居住地	交通費	おみやげ・買物代	飲食代	宿泊代	入場・観覧料	その他	計
北海道	2,222	7,216	6,662	15,029	1,962	1,000	34,092
東北	3,269	9,944	5,769	12,923	1,460	200	33,566
関東	2,206	6,658	6,687	13,716	1,914	1,650	32,829
中部	1,736	9,212	7,188	13,667	1,672	709	34,184
近畿	1,478	5,642	5,928	14,143	1,706	556	29,453
中国	1,112	4,811	4,545	13,210	1,771	952	26,400
四国	1,300	6,870	5,229	11,861	2,017	0	27,277
九州	1,156	3,543	3,800	9,365	1,394	556	19,813

**【旅行前の期待度と旅行後の満足度】 ※ハガキ調査によるもの**

旅行前の旅行全体についての期待振りをみると、「期待した」が 69.8%と平成 23 年調査 (67.7%) 比 2.1 ポイント増加したのに対し、「期待していない」も 2.1% (同 0.7%) と 1.4 ポイント増加した。一方、旅行後の旅行全体についての満足度は、「大変満足」54.3%(同 45.1%)、「やや満足」44.7% (同 48.0%) に対し、「やや不満」と「大変不満」はそれぞれわずか 0.5% (同 2.5%と 0.1%) となっており、「長崎旅行」への満足度は総じて上昇している。

次に旅行の各要素についてみてみると、期待度が最も高かったのは「夜景」の 67.9% (平成 23 年 : 60.0%) であり、次いで「食事」が 62.8% (同 62.6%) であった。以下「まち歩き」61.8% (同 51.1%)、「自然やまちの景観」56.9% (同 62.0%)、「観光施設」51.6% (同 61.6%) と続く。

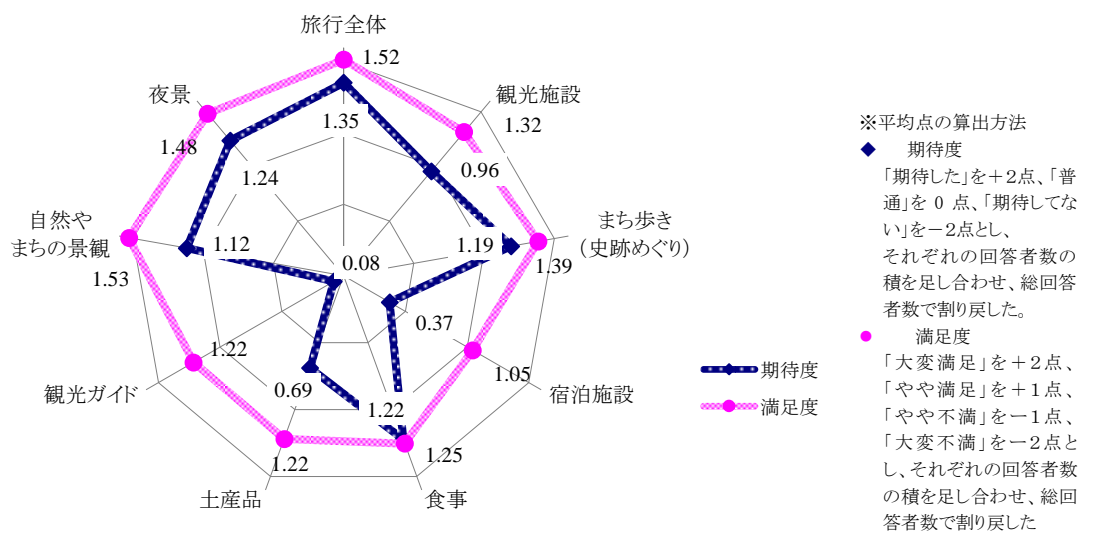
また、満足度が最も高かったのは「夜景」の 65.6% (同 39.8%) で、2 年前の調査から 25.8 ポイントの大幅上昇となっており、新三大夜景認定効果が顕著に表れた結果となった。以下、「まち歩き」50.5% (同 33.1%)、「食事」46.8% (同 44.0%)、「自然やまちの景観」46.4% (同 46.4%)、「土産品」40.4% (同 26.4%) となっている。他方、「宿泊施設」を不満とする割合が比較的高い。





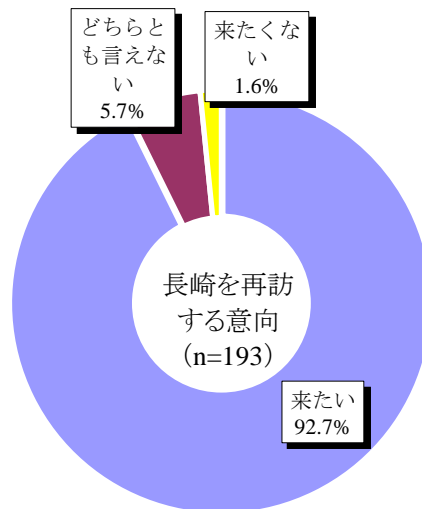
さらに、各項目の期待度と満足度について各評価を点数化し平均点を算出したところ、「観光ガイド」と「宿泊施設」における期待度と満足度の差が大きく、期待はしていなかったけれども、実際の満足度は大きかったことが見受けられた。また、「食事」では期待度と満足度がほぼ同数となった。

旅行前の期待度と旅行後の満足度



**【長崎市を再訪する意向】 ※ハガキ調査によるもの**

長崎市を再訪する意向があるのかどうかを尋ねたところ、「来たい」との回答が 92.7% と大半を占めており、平成 23 年の調査結果（93.1%）と比べて 0.4 ポイント減のほぼ横這いとなった。一方、「来たくない」は 1.6%（同 0.7%）と 0.9 ポイント増、「どちらとも言えない」が 5.7%（同 6.2%）で 0.5 ポイント減であった。







長崎市経済局文化観光部観光政策課